

コンパクトなまちづくり計画
～鹿島市立地適正化計画～

【参考資料編】

2020年3月
佐賀県鹿島市

－ 目 次 －

1. 都市構造分析.....	1
1.1 鹿島市の各人口カバー率・人口密度.....	1
1.1.1 日常生活サービスの徒歩圏充足率.....	2
1.1.2 医療施設の徒歩圏人口カバー率.....	3
1.1.3 福祉施設の徒歩圏人口カバー率.....	4
1.1.4 商業施設の徒歩圏人口カバー率.....	5
1.1.5 基幹的公共交通の徒歩圏人口カバー率.....	7
1.1.6 公共交通路線の徒歩圏人口カバー率.....	8
1.1.7 土砂災害危険区域、浸水想定区域に居住する人口の割合.....	9
1.1.8 保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率.....	10
1.1.9 高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率.....	11
1.1.10 公園緑地の徒歩圏人口カバー率.....	12
1.1.11 金融施設の徒歩圏人口カバー率.....	13
1.2 都市構造評価のまとめ.....	14
1.2.1 全国の都市との比較.....	15
1.2.2 全国の5万人以下の都市との比較.....	16
1.2.3 佐賀県の都市との比較.....	17
1.2.4 佐賀県の5万人以下の都市との比較.....	18
1.3 その他の各種基礎データ（市全域図）.....	19
2. 市民アンケート結果.....	25
2.1 調査概要.....	25
2.2 調査結果.....	25
2.2.1 あなたご自身について.....	25
2.2.2 身近な施設の利用状況について.....	28
2.2.3 コンパクトなまちづくりに向けて.....	43

1. 都市構造分析

1.1 鹿島市の各人口カバー率・人口密度

「都市モニタリングシート」(国土交通省)をもとに、全国の各自治体の値と比較評価を実施することで鹿島市の都市構造を評価します。

✓居住機能の適切な誘導

【日常生活サービスの徒歩圏充足率】

- ・日常生活サービスの徒歩圏充足：約 26.3%

【生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率】

- ・医療施設人口カバー率：約 63.4%
- ・福祉施設人口カバー率：約 80.1%
- ・商業施設人口カバー率：約 54.1%

【基幹的公共交通の徒歩圏人口カバー率】

- ・基幹的公共交通人口カバー率：約 41.5%

✓都市機能の適正配置

【生活サービス施設の利用圏人口密度】

- ・医療施設利用圏人口密度：約 18.4 人/ha
- ・福祉施設利用圏人口密度：約 11.8 人/ha
- ・商業施設利用圏人口密度：約 17.3 人/ha

✓公共交通サービス水準の向上

【公共交道路線沿線地域の人口密度】

- ・公共交道路線沿線地域の人口密度：約 10.2 人/ha

✓都市生活の利便性の向上

【高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率】

- ・高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率：約 85.0%

【保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率】

- ・保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率：45.5%

【公園緑地の徒歩圏の人口カバー率】

- ・公園緑地の徒歩圏の人口カバー率：52.2%

✓安全性の高い地域への居住誘導

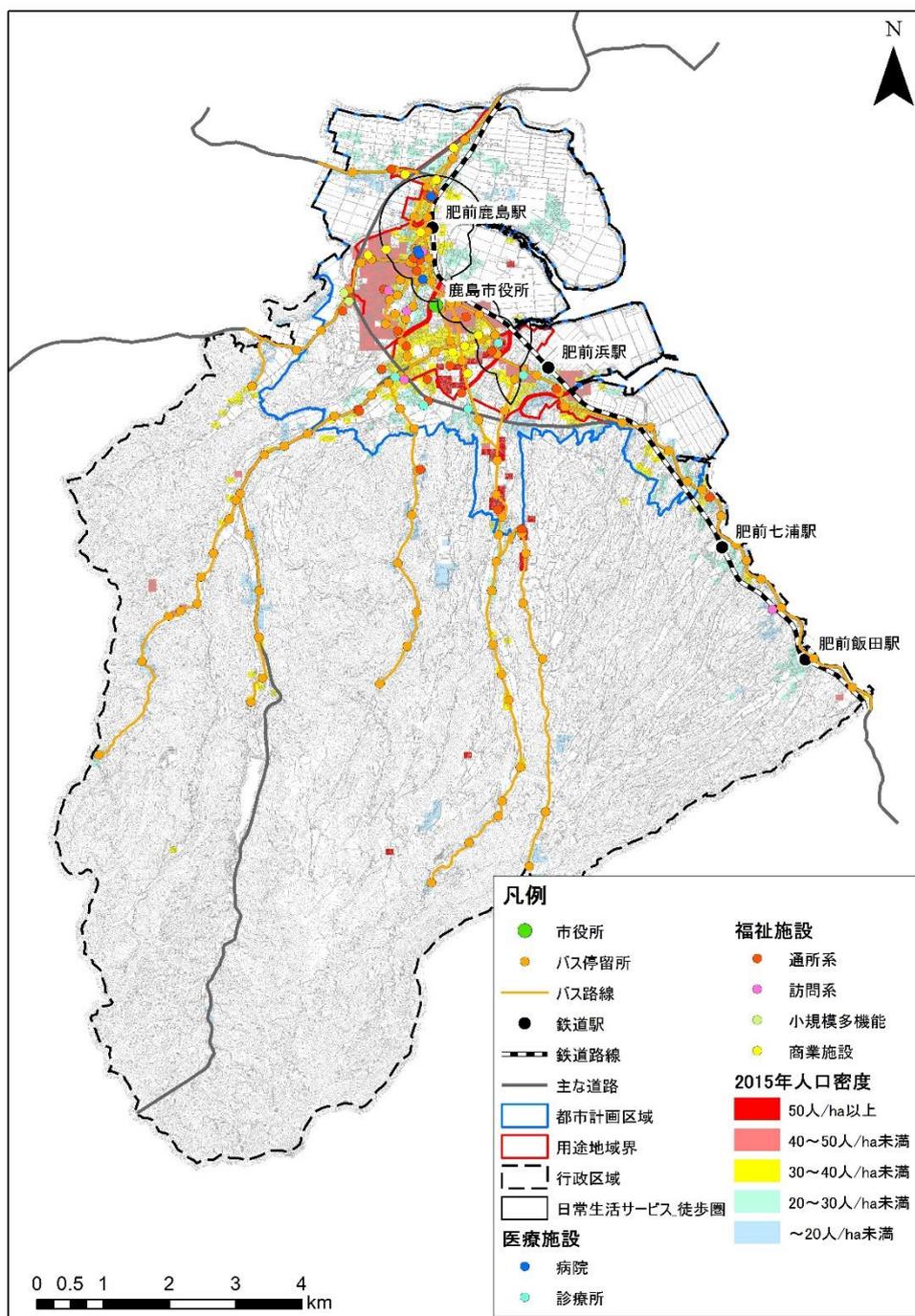
【防災上危険性が懸念される地域に居住する人口の割合】

- ・土砂災害危険区域、浸水想定区域に居住する人口の割合：約 39.3%
-
-

1.1.1 日常生活サービスの徒歩圏充足率

総人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
29,684	7,802	26.3	318	24.5

■日常生活サービスの徒歩圏、人口分布(2015)

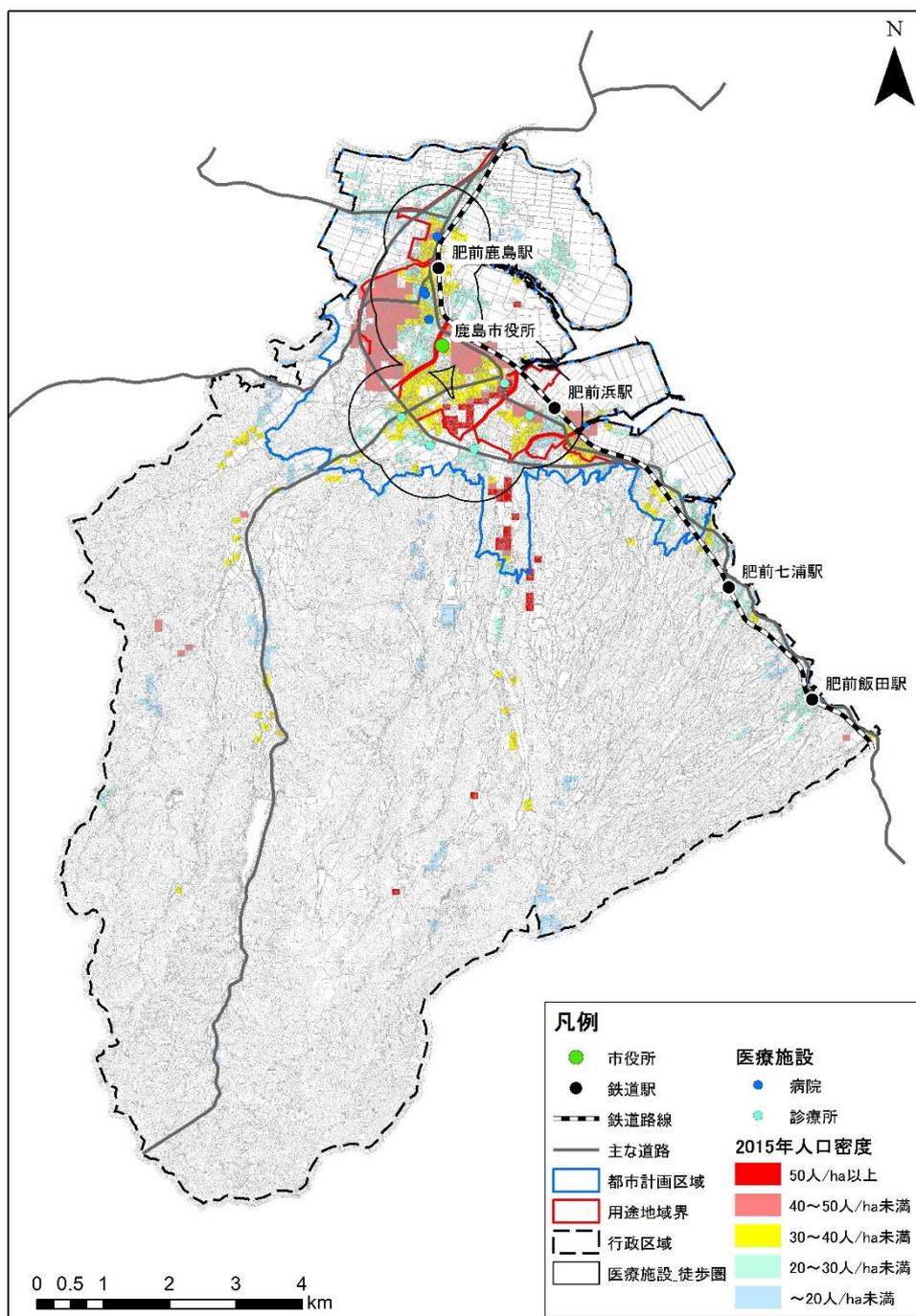


資料：H29 都市計画基礎調査、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)
 ※：日常生活サービスとは、医療、福祉、商業、基幹的公共交通、すべての徒歩圏に含まれるエリア

1.1.2 医療施設の徒歩圏人口カバー率

総人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
29,684	18,811	63.4	1,024	18.4

■医療施設の徒歩圏、人口分布(2015)

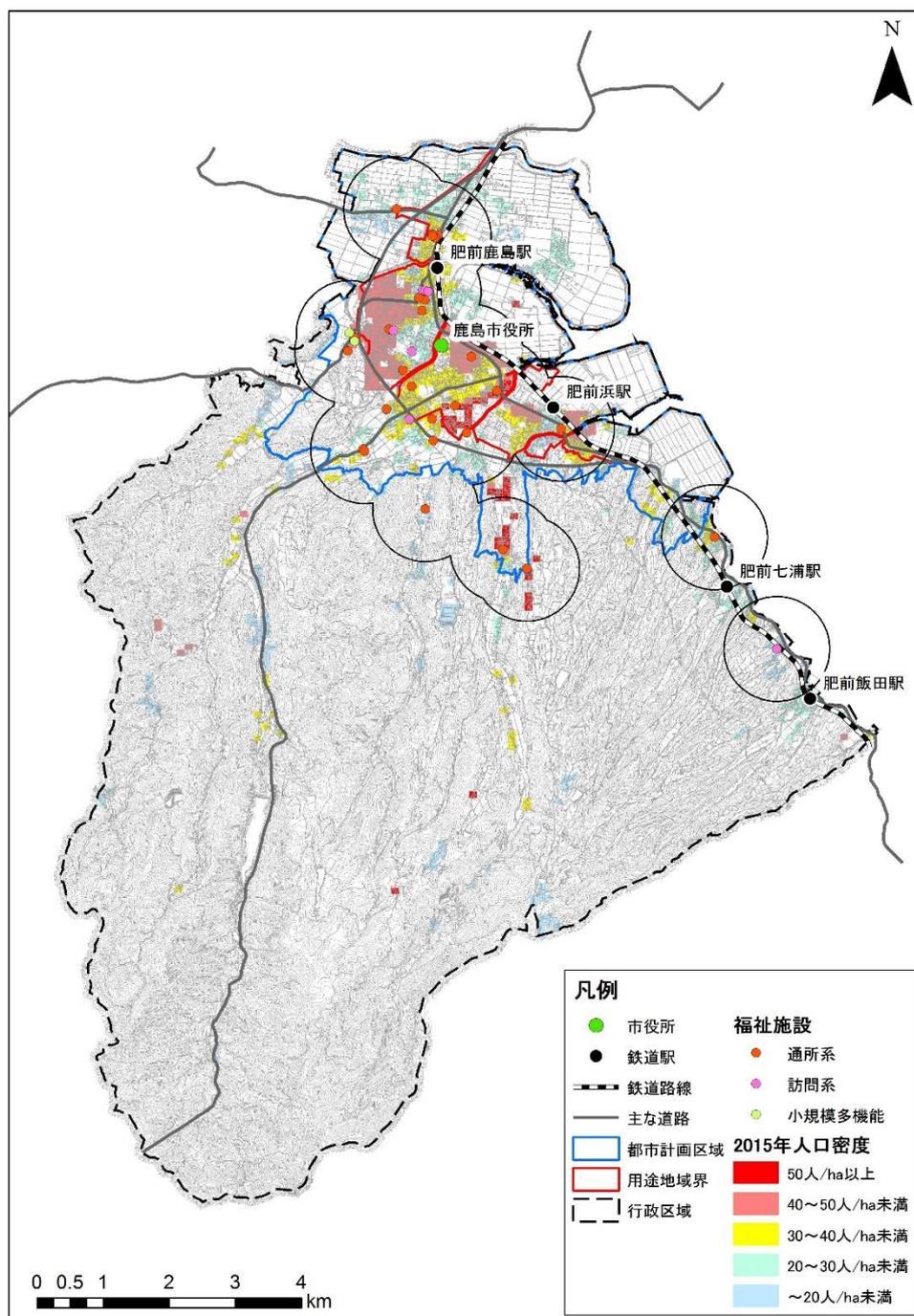


資料：市提供資料、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.1.3 福祉施設の徒歩圏人口カバー率

総人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
29,684	23,977	80.8	2,111	11.4

■福祉施設の徒歩圏、人口分布(2015)

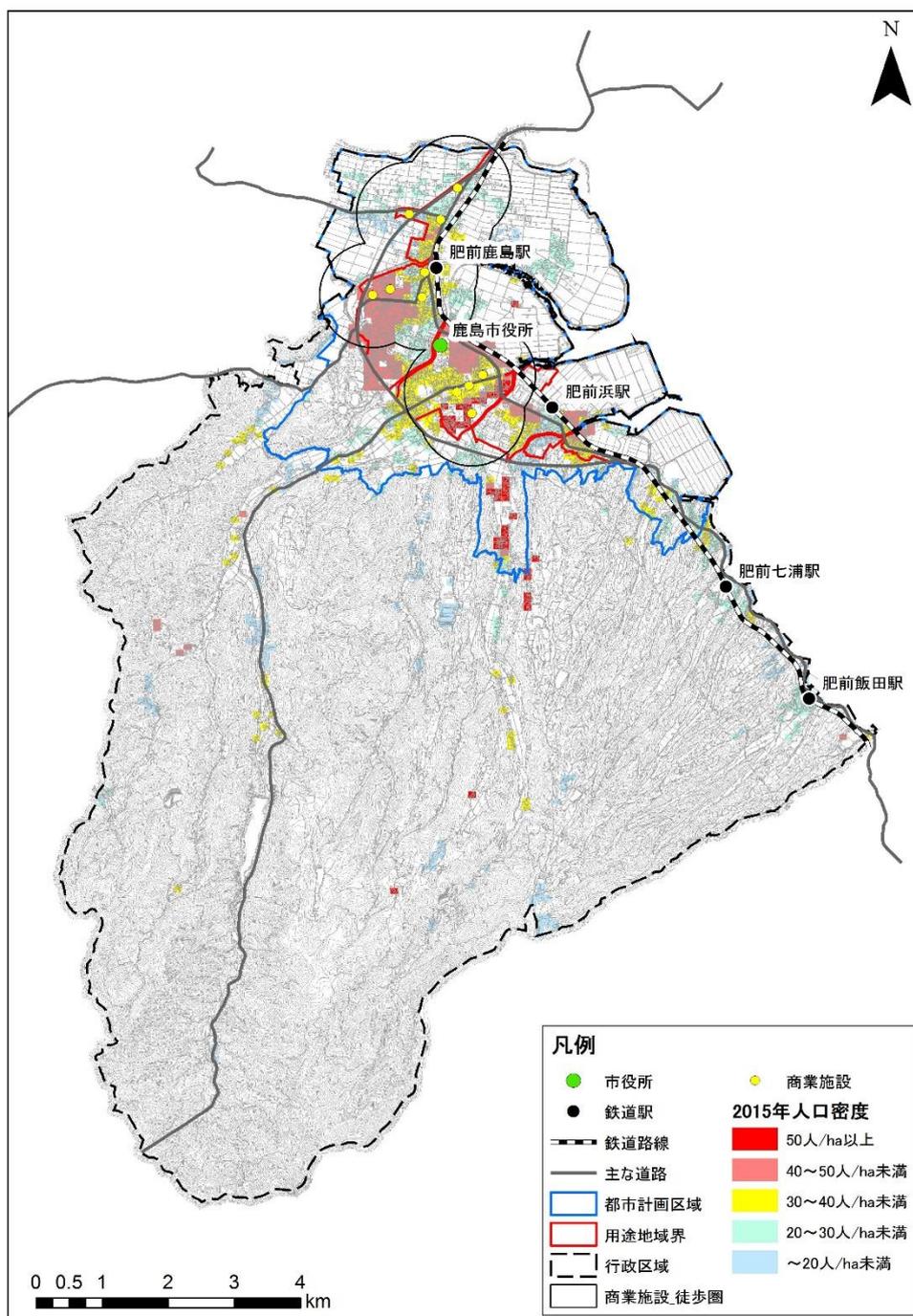


資料：市提供資料、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.1.4 商業施設の徒歩圏人口カバー率

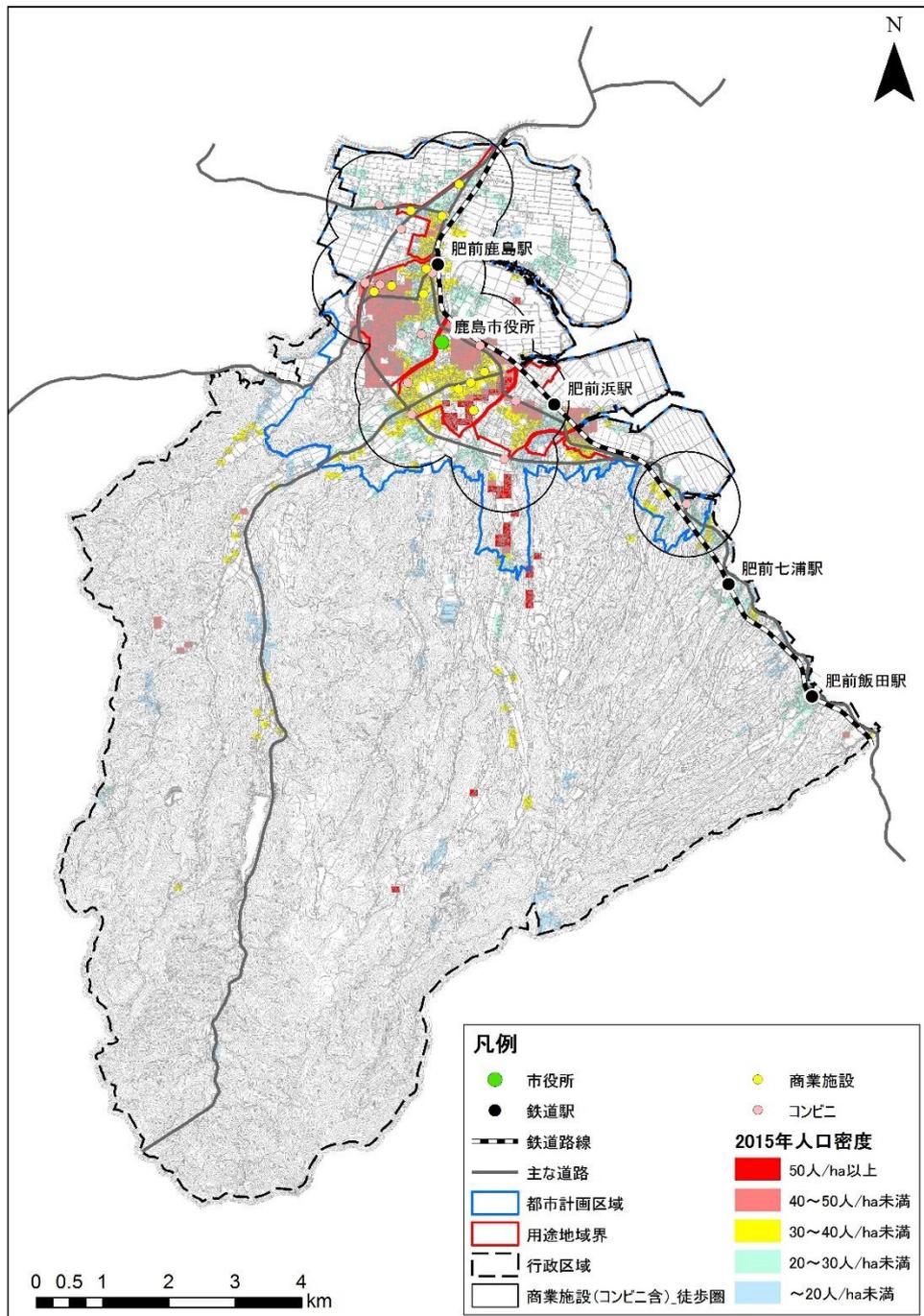
総人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
29,684	16,065	54.1	928	17.3

■商業施設の徒歩圏、人口分布(2015)



資料：市提供資料、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

■《参考》商業施設(コンビニを含む)の徒歩圏、人口分布(2015)

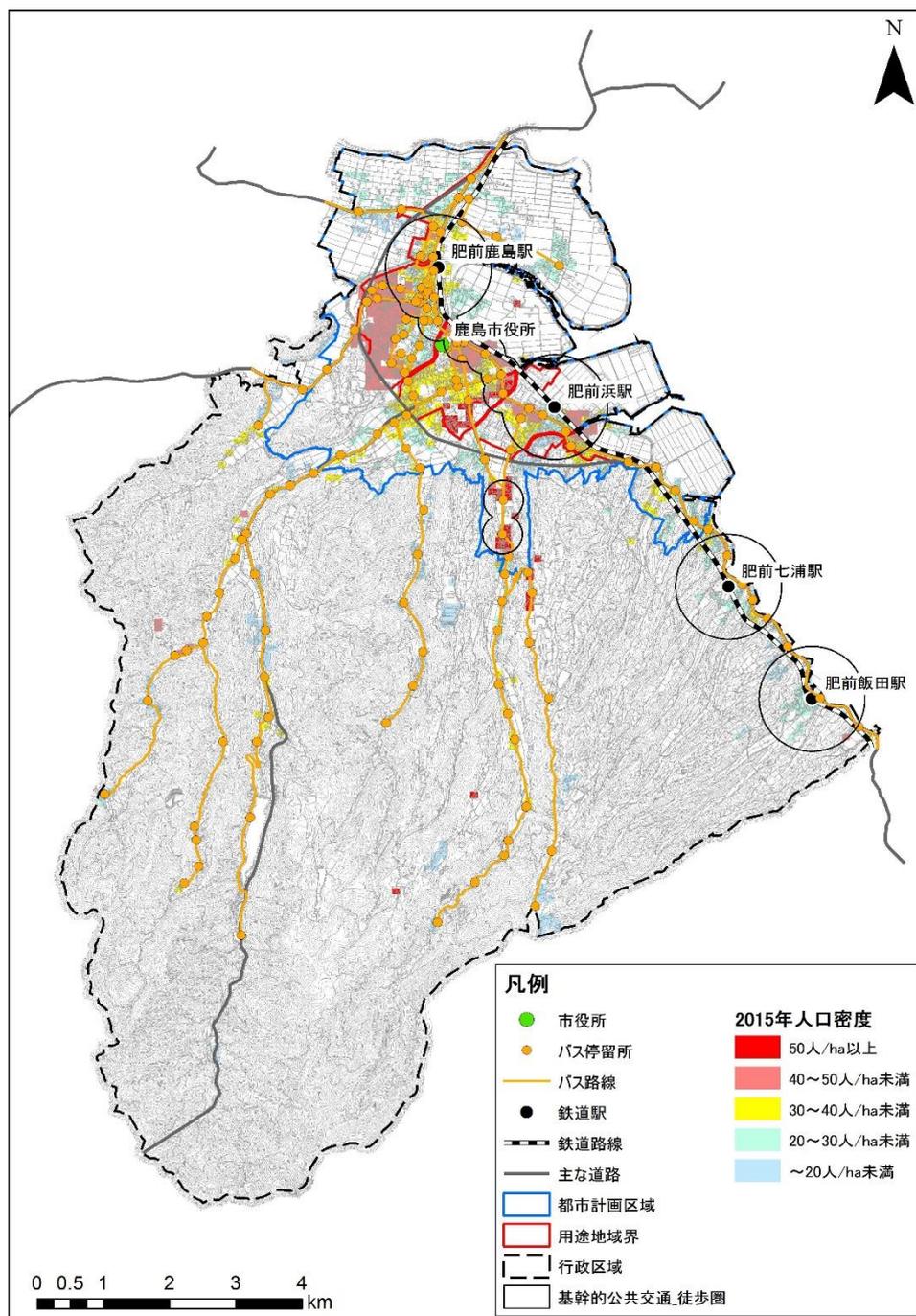


資料：市提供資料、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.1.5 基幹的公共交通の徒歩圏人口カバー率

総人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
29,684	12,313	41.5	818	15.1

■基幹的公共交通の徒歩圏、人口分布(2015)

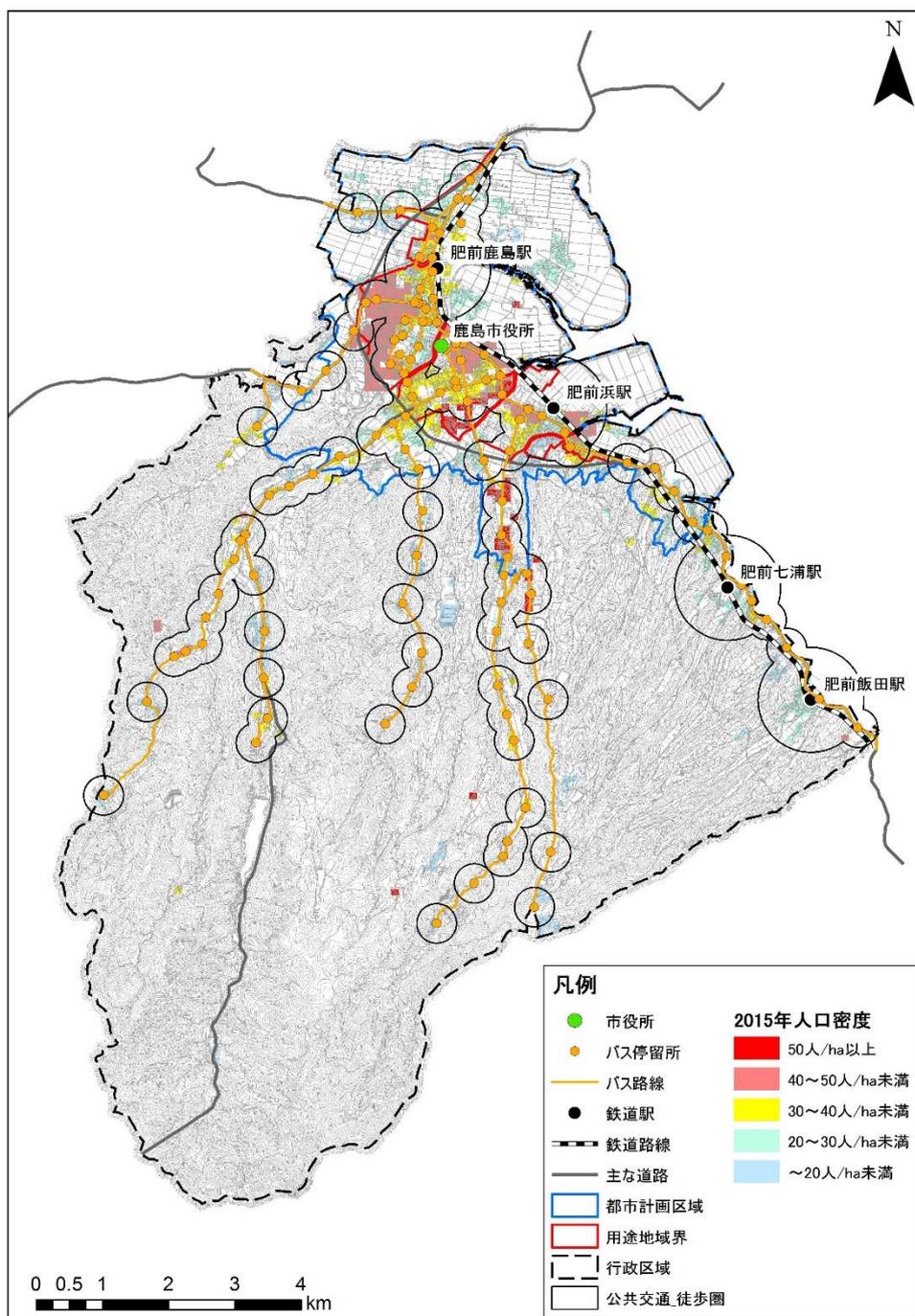


資料：H29 都市計画基礎調査、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.1.6 公共交通路線の徒歩圏人口カバー率

総人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
29,684	25,801	86.9	2,759	10.2

■バス停・鉄道駅の徒歩圏、人口分布

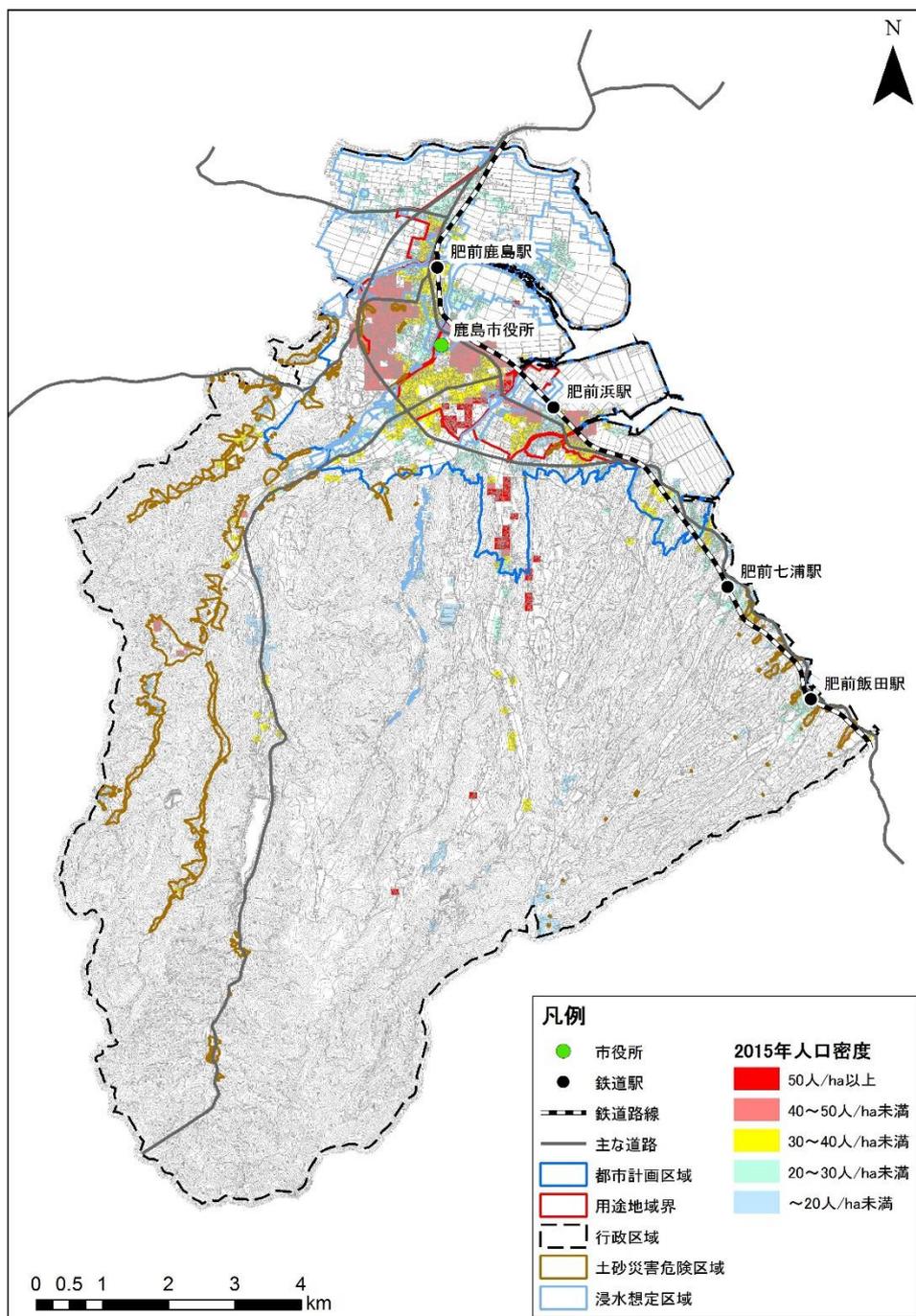


資料：H29 都市計画基礎調査、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.1.7 土砂災害危険区域、浸水想定区域に居住する人口の割合

総人口 (人)	区域内人口 (人)	人口割合 (%)	区域面積 (ha)
29,684	11,671	39.3	990

■災害危険区域内の人口分布(2015)

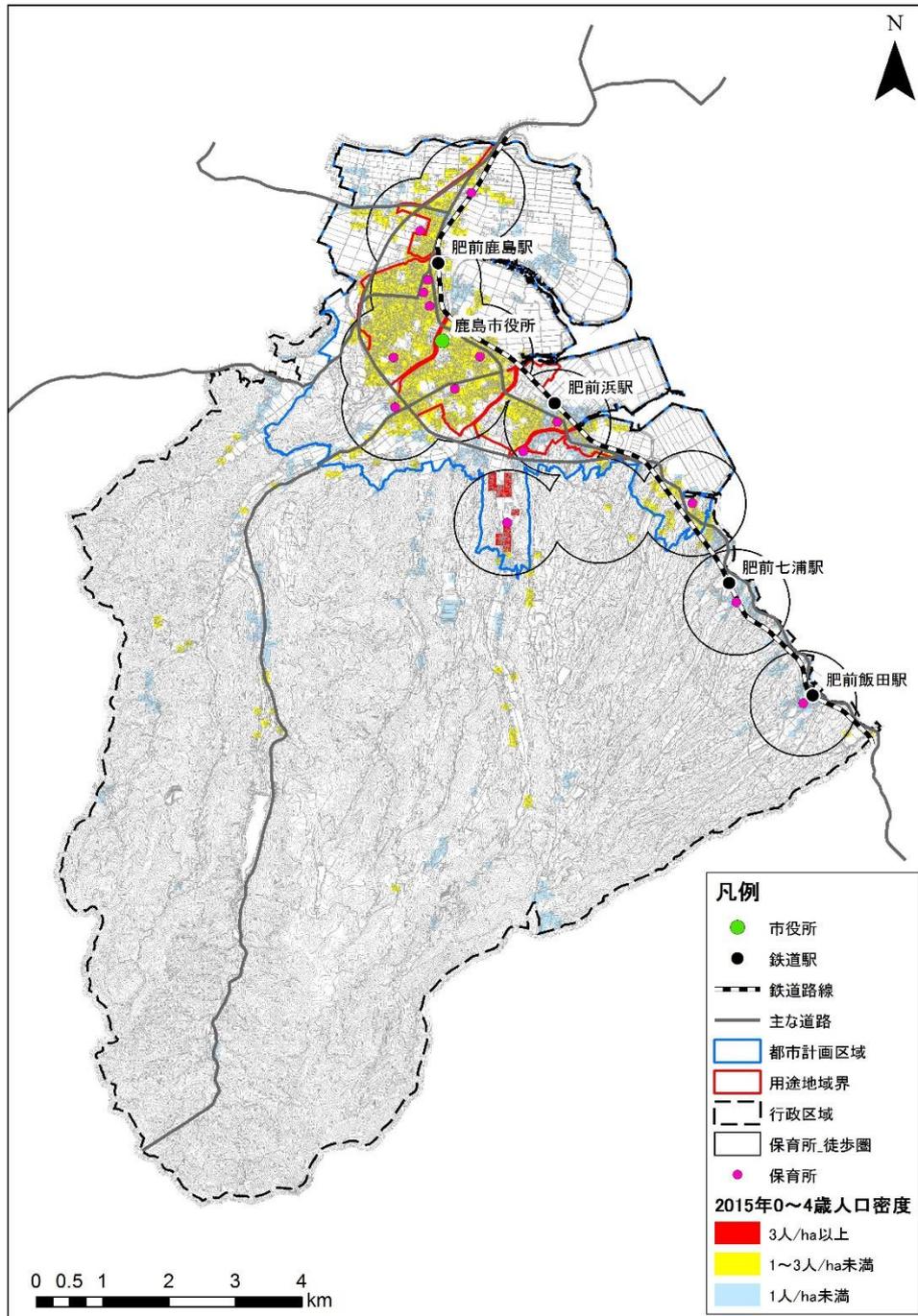


資料：国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.1.8 保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率

幼児人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
2,510	1,142	45.5	2,021	0.6

■保育所の徒歩圏、0～4歳人口分布(2015)

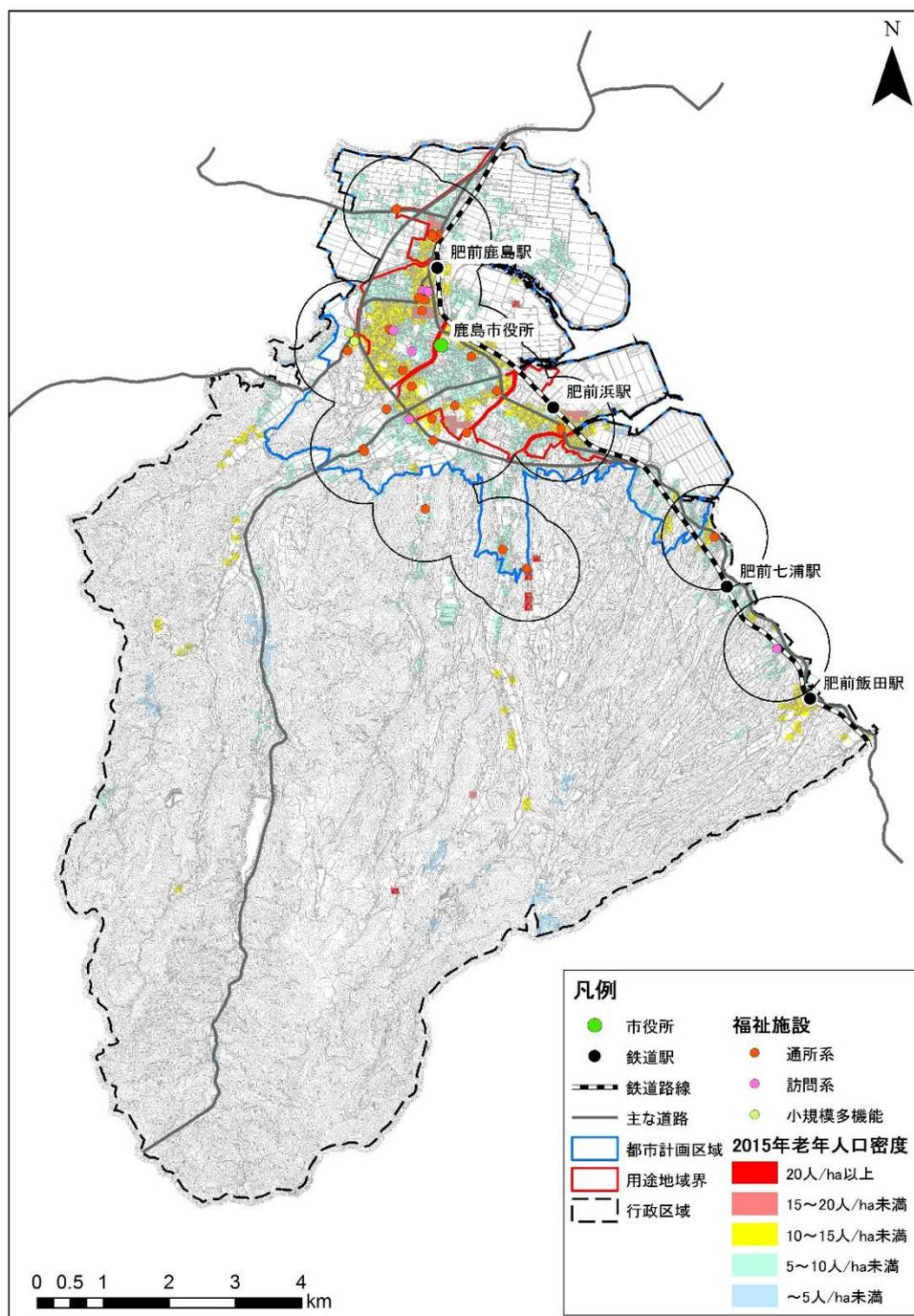


資料：市提供資料、国土

1.1.9 高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率

老年人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
8,669	7,368	85.0	2,551	2.9

■福祉施設の徒歩圏、老年(高齢者)人口分布(2015)

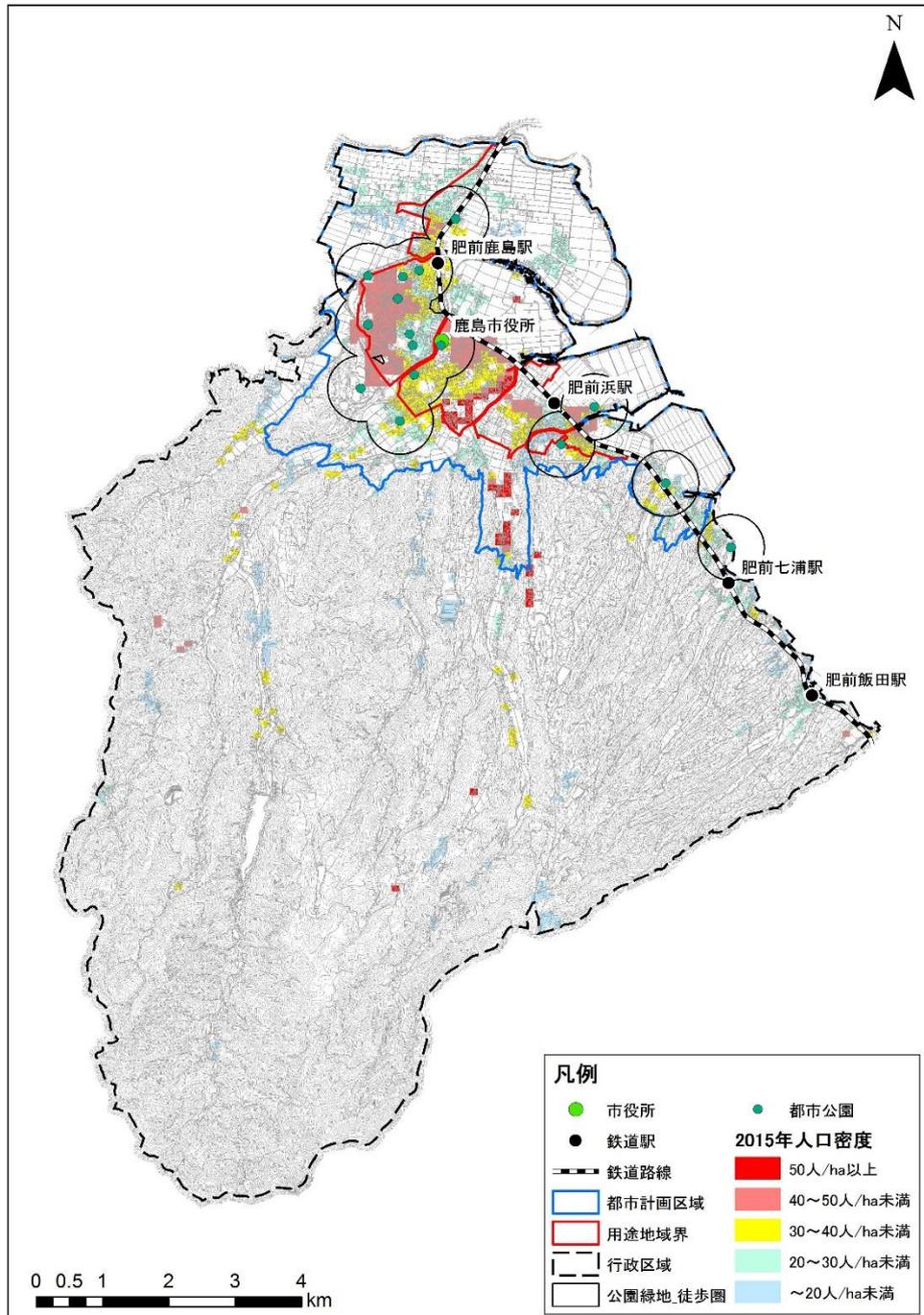


資料：市提供資料、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.1.10 公園緑地の徒歩圏人口カバー率

総人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
29,684	15,508	52.2	825	18.8

■公園緑地の徒歩圏、人口分布(2015)

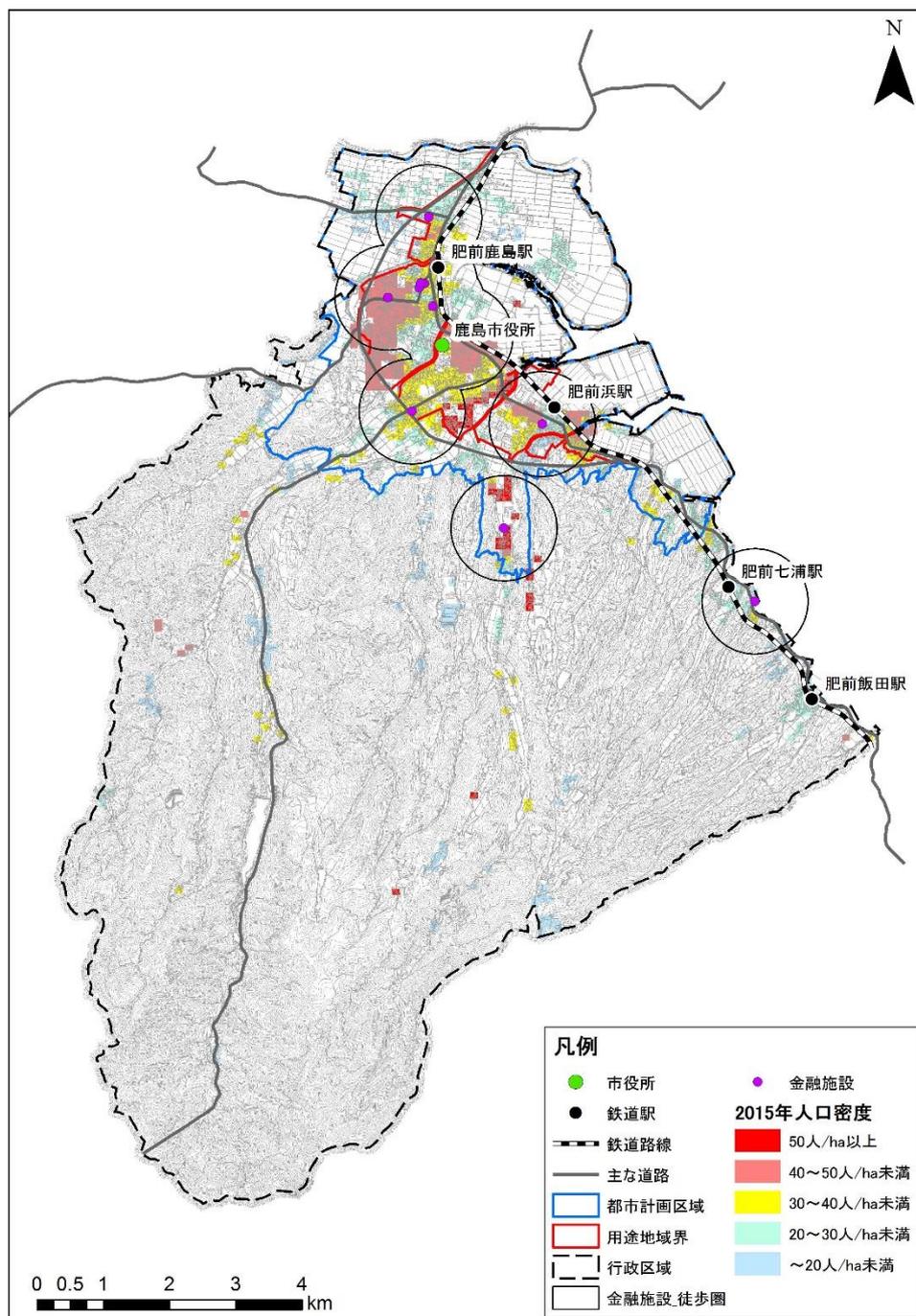


資料：H29 都市計画基礎調査、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.1.11 金融施設の徒歩圏人口カバー率

総人口 (人)	徒歩圏人口 (人)	人口カバー率 (%)	徒歩圏面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
29,684	20,400	68.7	1,273	16.0

■金融施設の徒歩圏、人口分布(2015)



資料：H29 都市計画基礎調査、国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

1.2 都市構造評価のまとめ

鹿島市の都市構造の状態について、「都市モニタリングシート」（国土交通省）をもとに、他都市との比較を行い、都市構造を評価しました。

比較対象を以下の4つのパターンとして評価しました。

①全国の都市との比較

全国全ての都市の平均値と比較しました。

②全国の5万人以下の都市との比較

2015年国勢調査の人口が5万人以下の都市の平均値と比較しました。

③佐賀県の都市との比較

佐賀県内の都市の平均値と比較しました。

④佐賀県の5万人以下の都市との比較

2015年国勢調査の人口が5万人以下の佐賀県内の都市の平均値と比較しました。

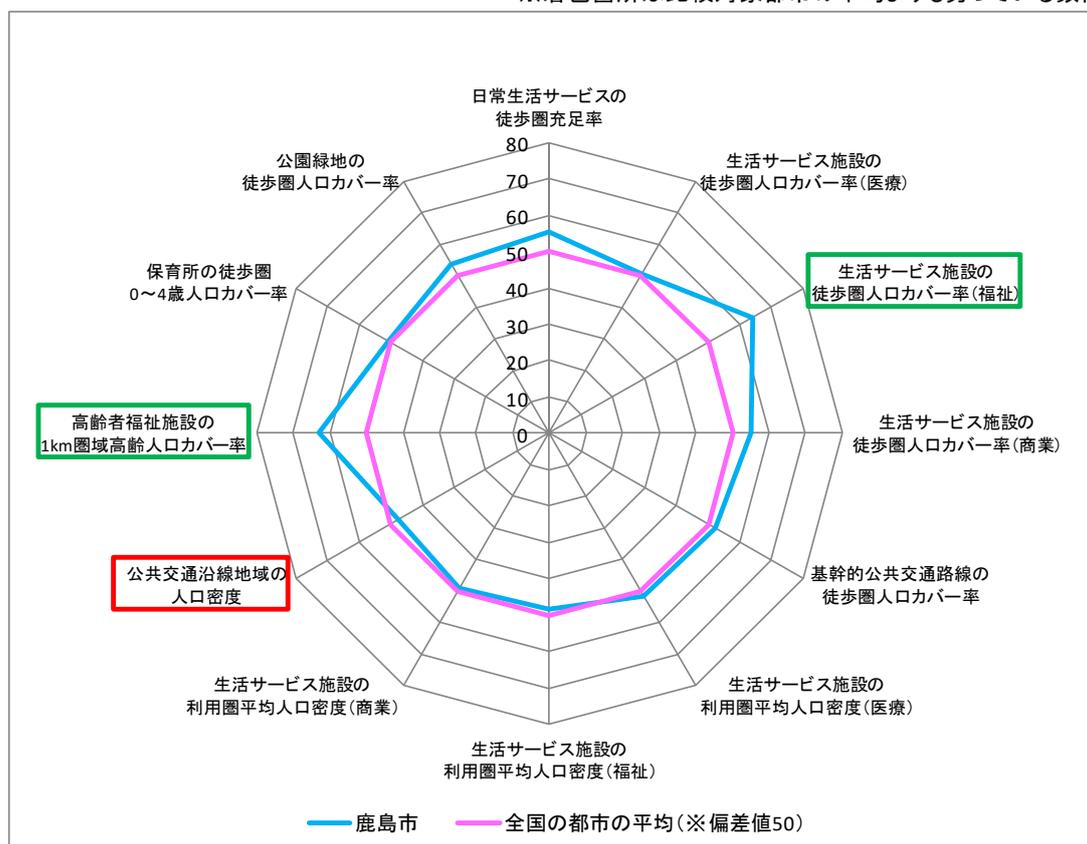
1.2.1 全国の都市との比較

全国の都市平均と比べ、生活サービス施設（福祉）の人口カバー率や高齢者福祉施設の高齢人口カバー率は、他都市より特に優れています。

公共交通沿線地域や生活サービス施設（福祉・商業）の徒歩圏に含まれる人口密度は、他都市よりも僅かに低くなっています。

評価軸	評価指標	単位	鹿島市	全国	偏差値		
			実績	平均値	鹿島市	全国	
生活利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	26.3	16.4	55	50	
	生活サービス施設の 徒歩圏人口カバー率	医療	%	63.4	62.3	50	50
		福祉	%	80.8	41.0	64	50
		商業	%	54.1	40.5	55	50
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	%	41.5	35.4	52	50	
	公共交通路線の徒歩圏人口カバー率(参考)	%	86.9	-	-	-	
	金融施設の徒歩圏人口カバー率	%	68.7	-	-	-	
	生活サービス施設の 利用圏平均人口密度	医療	人/ha	18.4	15.1	52	50
		福祉	人/ha	11.4	14.8	48	50
		商業	人/ha	17.3	18.7	49	50
公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	10.2	14.9	48	50		
金融施設の徒歩圏人口密度	人/ha	16.0	-	-	-		
健康・福祉	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	85.0	46.1	63	50	
	保育所の徒歩圏0~4歳人口カバー率	%	45.5	43.6	51	50	
	公園緑地の徒歩圏人口カバー率	%	52.2	38.7	54	50	
安全・安心	土砂災害危険区域、浸水想定区域に居住する人口の割合(参考)	%	39.3	-	-	-	

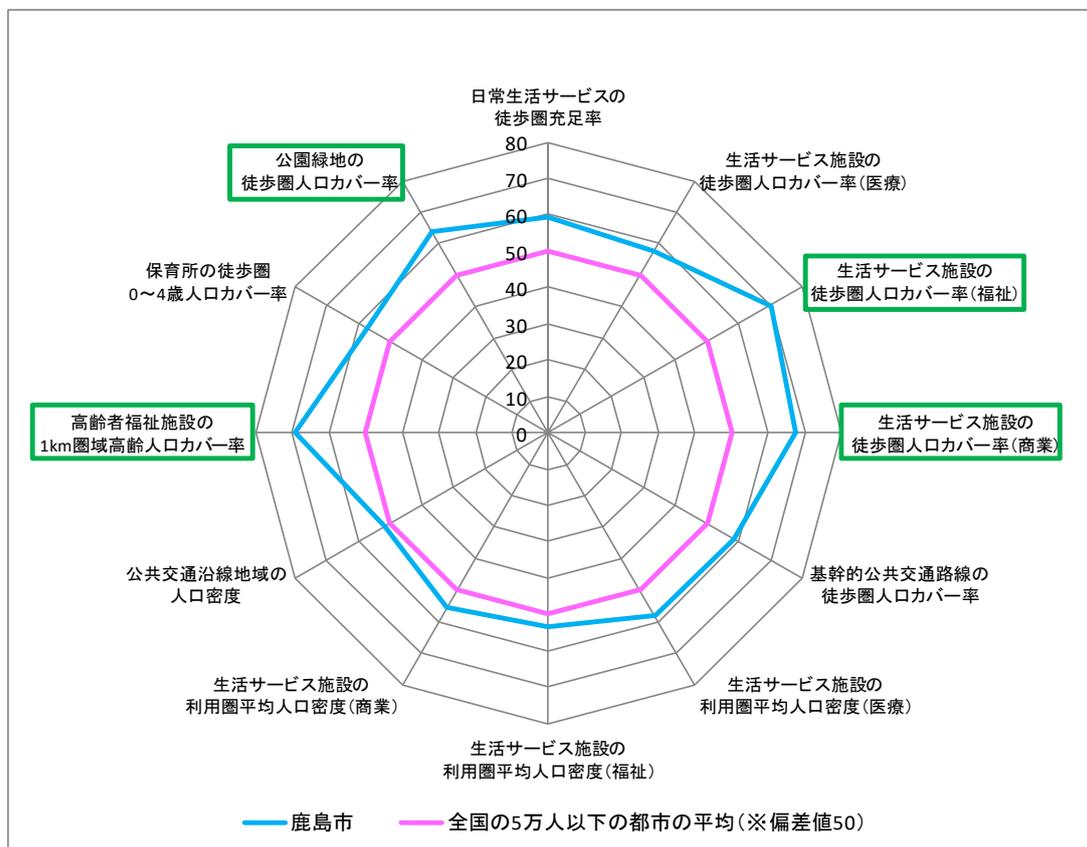
※着色箇所は比較対象都市の平均よりも劣っている数値



1.2.2 全国の5万人以下の都市との比較

全国の人口5万人以下の都市と比べ、劣っている項目はなく、生活サービス施設（福祉・商業）の人口カバー率や高齢者福祉施設の高齢人口カバー率、保育所の0～4歳人口のカバー率については、他都市より特に優れています。

評価軸	評価指標	単位	鹿島市	5万人以下	偏差値		
			実績	平均値	鹿島市	5万人以下	
生活利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	26.3	9.9	59	50	
	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	医療	%	63.4	53.6	58	50
		福祉	%	80.8	33.3	70	50
		商業	%	54.1	30.2	67	50
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	%	41.5	27.0	58	50	
	公共交通路線の徒歩圏人口カバー率(参考値)	%	86.9	-	-	-	
	金融施設の徒歩圏人口カバー率	%	68.7	-	-	-	
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度	医療	人/ha	18.4	8.1	58	50
		福祉	人/ha	11.4	7.1	53	50
		商業	人/ha	17.3	9.9	56	50
公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	10.2	7.5	52	50		
金融施設の徒歩圏人口密度	人/ha	16.0	-	-	-		
健康・福祉	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	85.0	38.4	69	50	
	保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率	%	45.5	33.7	57	50	
	公園緑地の徒歩圏人口カバー率	%	52.2	25.5	64	50	
安全・安心	土砂災害危険区域、浸水想定区域に居住する人口の割合(参考)	%	39.3	-	-	-	

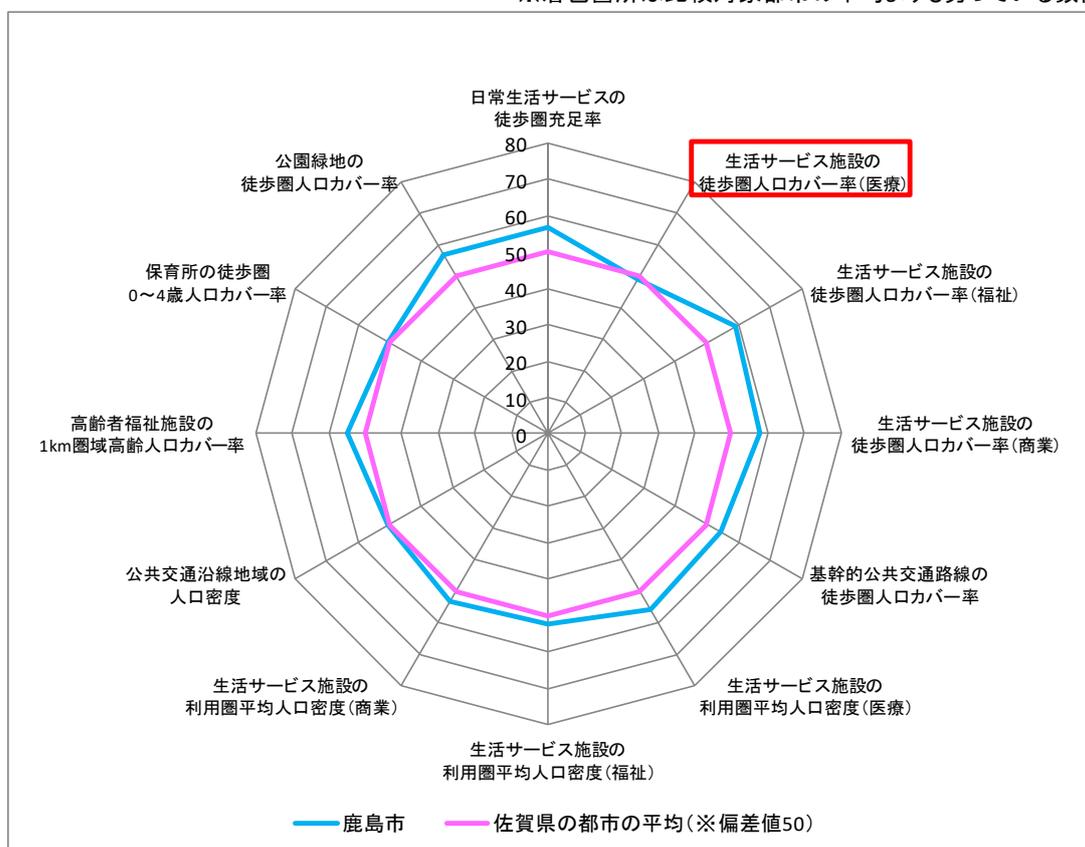


1.2.3 佐賀県の都市との比較

佐賀県の都市と比べ、生活サービス施設（医療）の人口カバー率が僅かに低くなっているものの、その他は平均と同等以上の値となっています。

評価軸	評価指標	単位	鹿島市	佐賀県	偏差値		
			実績	平均値	鹿島市	佐賀県	
生活利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	26.3	14.9	57	50	
	生活サービス施設の 徒歩圏人口カバー率	医療	%	63.4	64.9	49	50
		福祉	%	80.8	60.0	59	50
		商業	%	54.1	36.8	58	50
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	%	41.5	34.3	54	50	
	公共交通路線の徒歩圏人口カバー率(参考値)	%	86.9	-	-	-	
	金融施設の徒歩圏人口カバー率	%	68.7	-	-	-	
	生活サービス施設の 利用圏平均人口密度	医療	人/ha	18.4	10.3	56	50
		福祉	人/ha	11.4	8.1	52	50
		商業	人/ha	17.3	12.2	53	50
公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	10.2	9.1	51	50		
金融施設の徒歩圏人口密度	人/ha	16.0	-	-	-		
健康・福祉	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	85.0	69.2	55	50	
	保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率	%	45.5	43.9	51	50	
	公園緑地の徒歩圏人口カバー率	%	52.2	30.7	57	50	
安全・安心	土砂災害危険区域、浸水想定区域に居住する人口の割合(参考)	%	39.3	-	-	-	

※着色箇所は比較対象都市の平均よりも劣っている数値

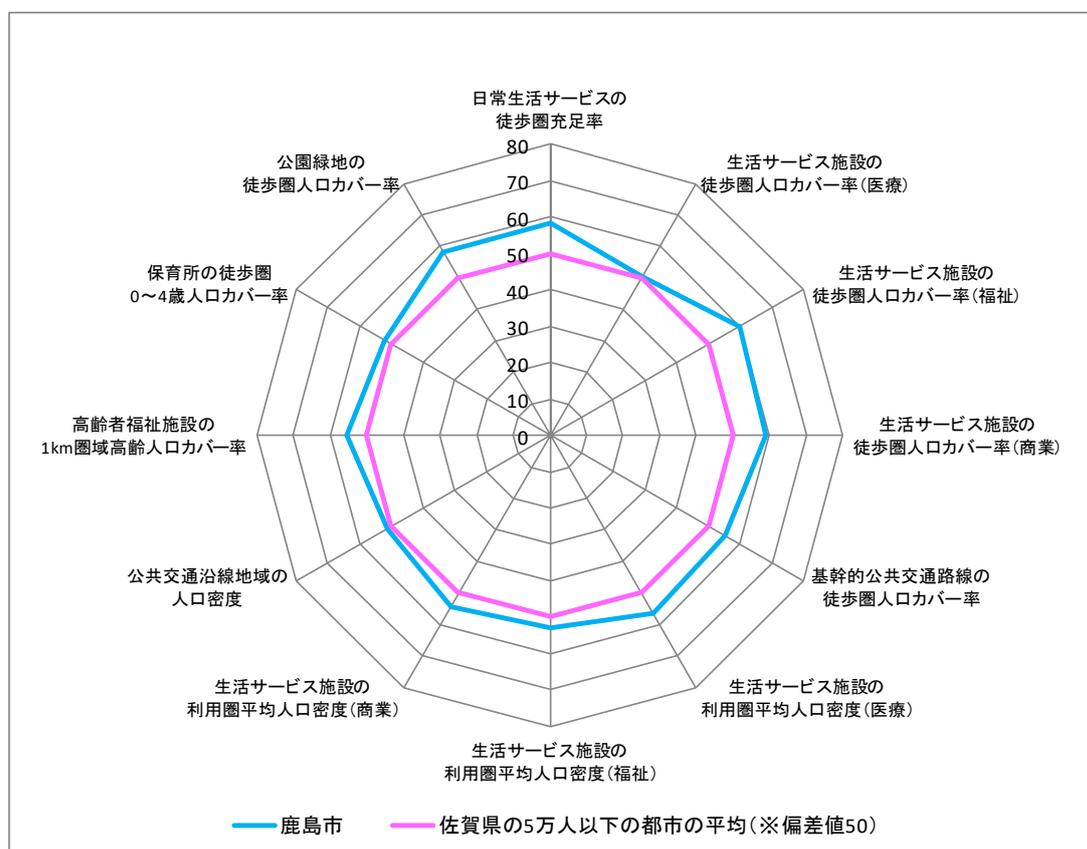


1.2.4 佐賀県の5万人以下の都市との比較

佐賀県の人口5万人以下の都市と比べ、劣っている項目はありません。

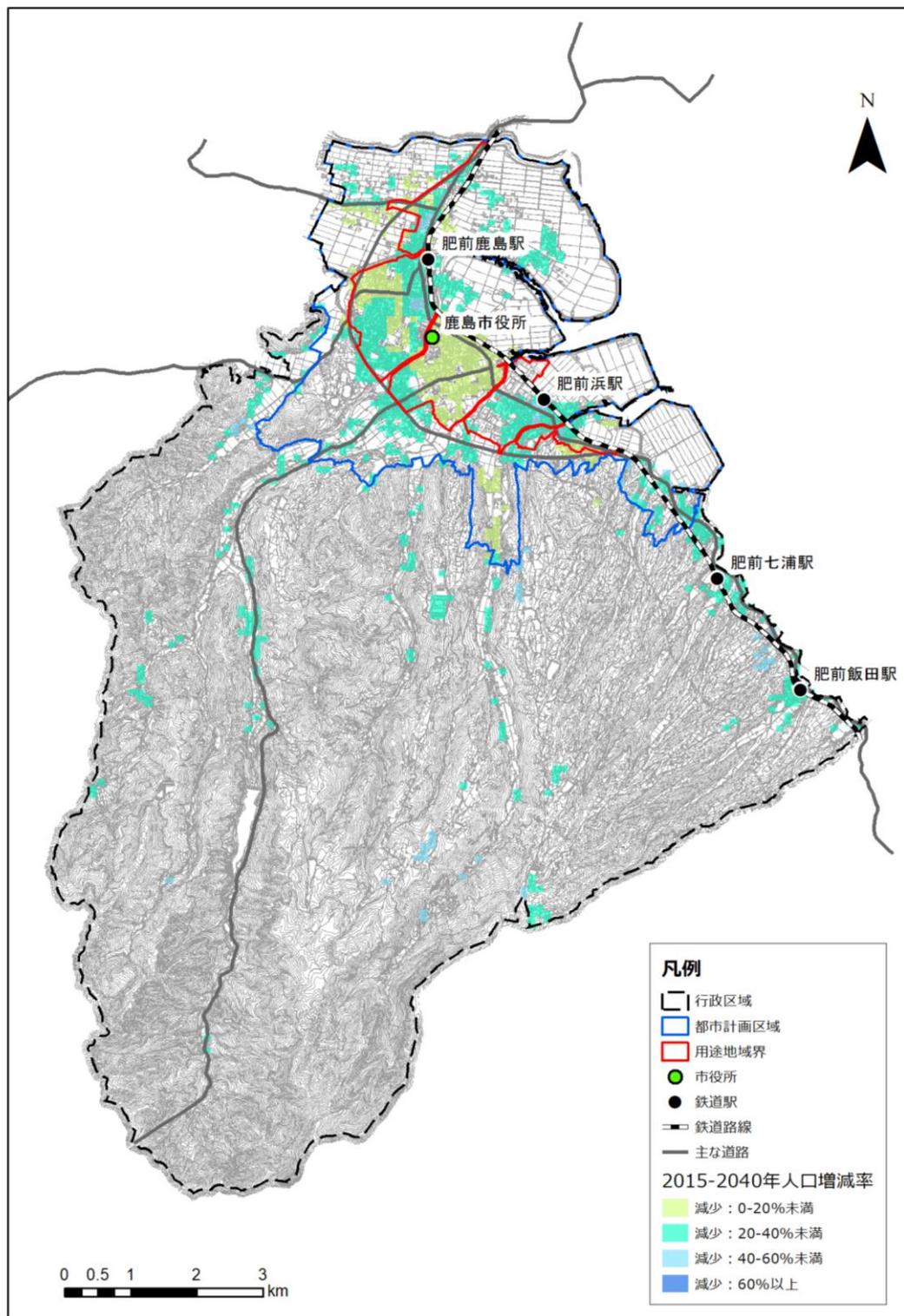
生活サービス施設（福祉）の人口カバー率は、約80%以上と高い値となっています。

評価軸	評価指標	単位	鹿島市	5万人以下	偏差値		
			実績	平均値	鹿島市	5万人以下	
生活利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	26.3	11.7	58	50	
	生活サービス施設の 徒歩圏人口カバー率	医療	%	63.4	62.1	51	50
		福祉	%	80.8	55.8	60	50
		商業	%	54.1	32.0	59	50
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	%	41.5	31.9	55	50	
	公共交通路線の徒歩圏人口カバー率(参考値)	%	86.9	-	-	-	
	金融施設の徒歩圏人口カバー率	%	68.7	-	-	-	
	生活サービス施設の 利用圏平均人口密度	医療	人/ha	18.4	9.4	57	50
		福祉	人/ha	11.4	7.2	53	50
		商業	人/ha	17.3	10.7	54	50
公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	10.2	8.1	51	50		
金融施設の徒歩圏人口密度	人/ha	16.0	-	-	-		
健康・福祉	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	85.0	66.1	56	50	
	保育所の徒歩圏0~4歳人口カバー率	%	45.5	40.6	52	50	
	公園緑地の徒歩圏人口カバー率	%	52.2	24.8	58	50	
安全・安心	土砂災害危険区域、浸水想定区域に居住する人口の割合(参考)	%	39.3	-	-	-	



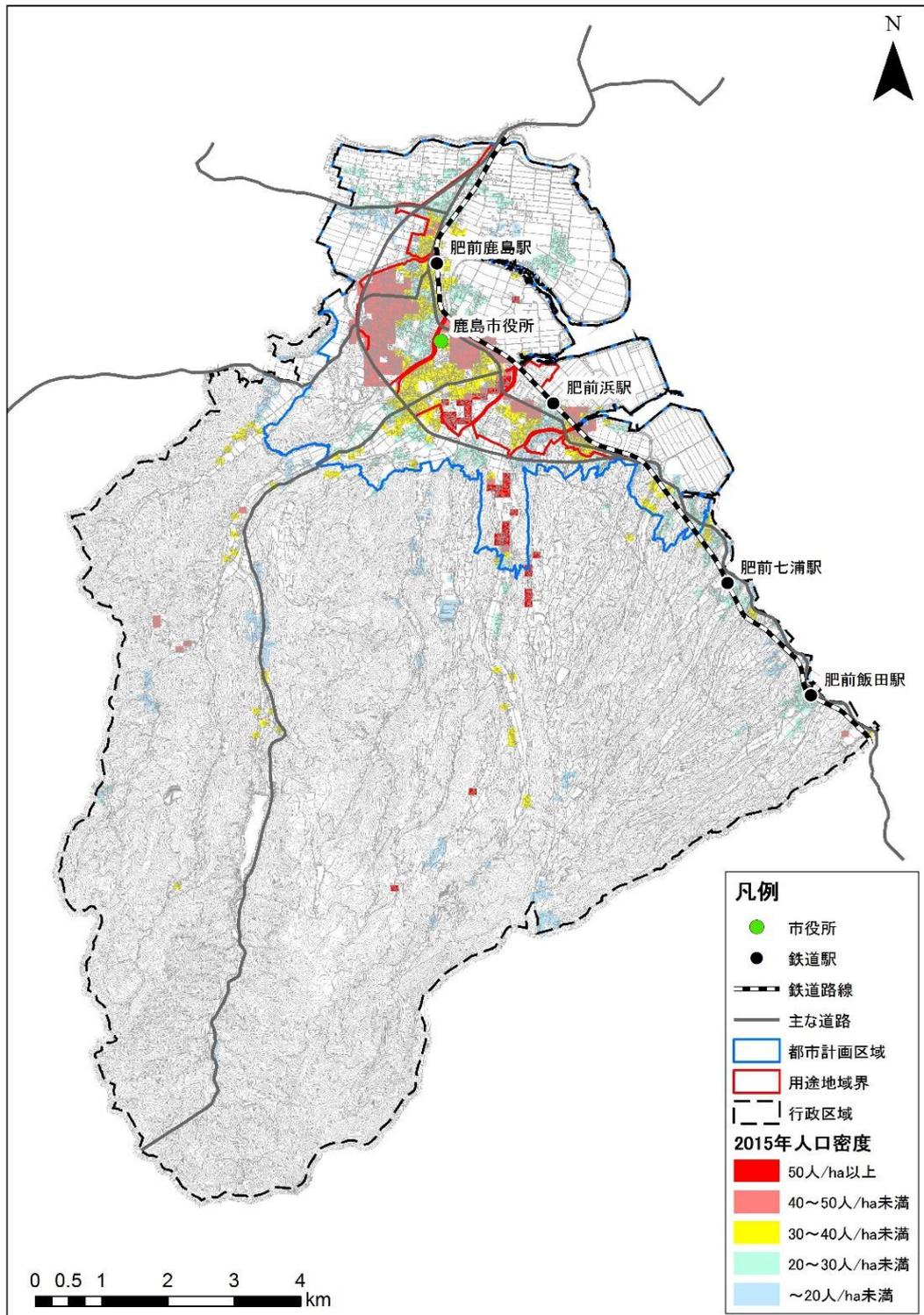
1.3 その他の各種基礎データ（市全域図）

(1) 2015~2040年人口増減率



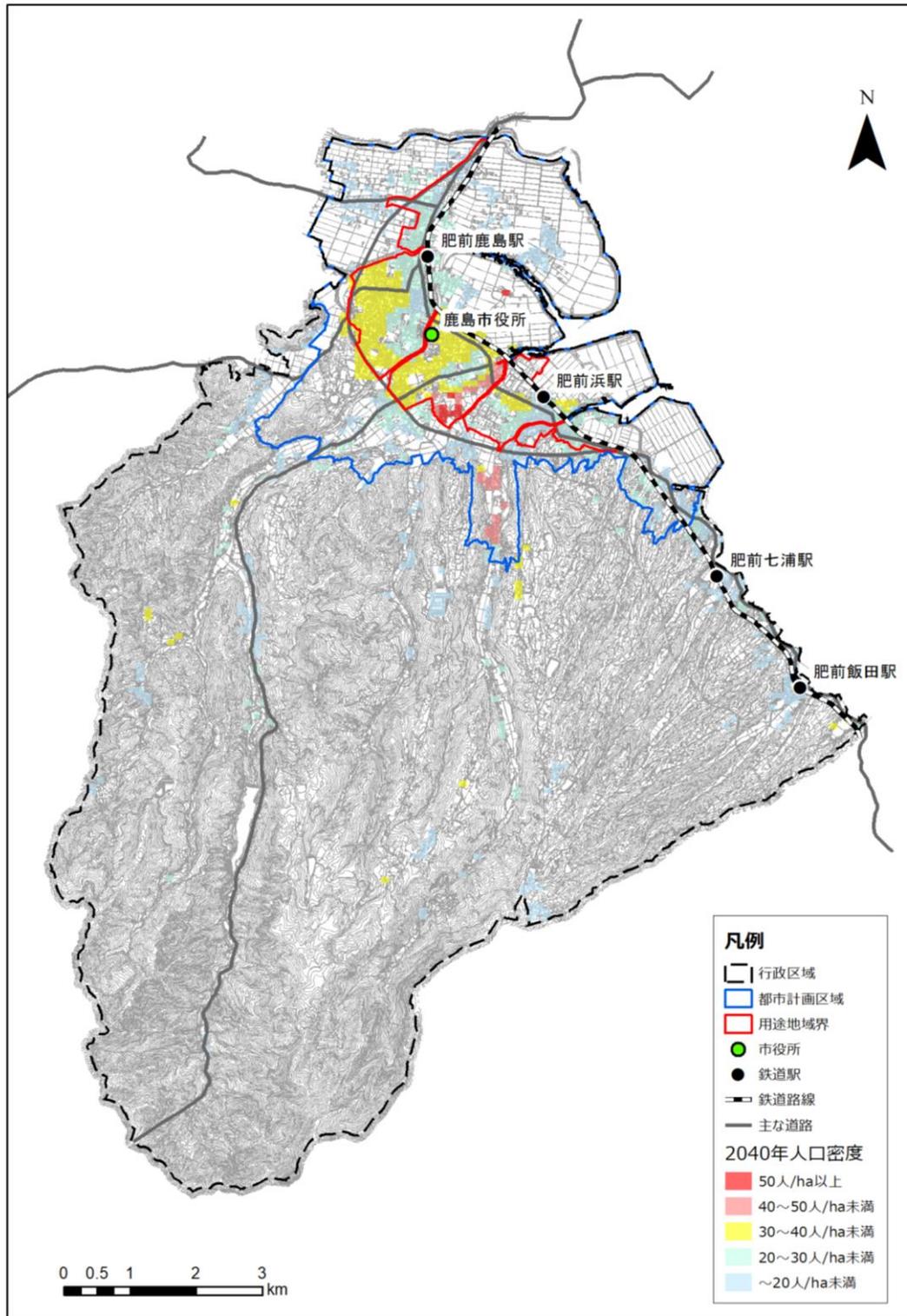
資料：国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成（人口メッシュ）

(2) 2015年人口密度



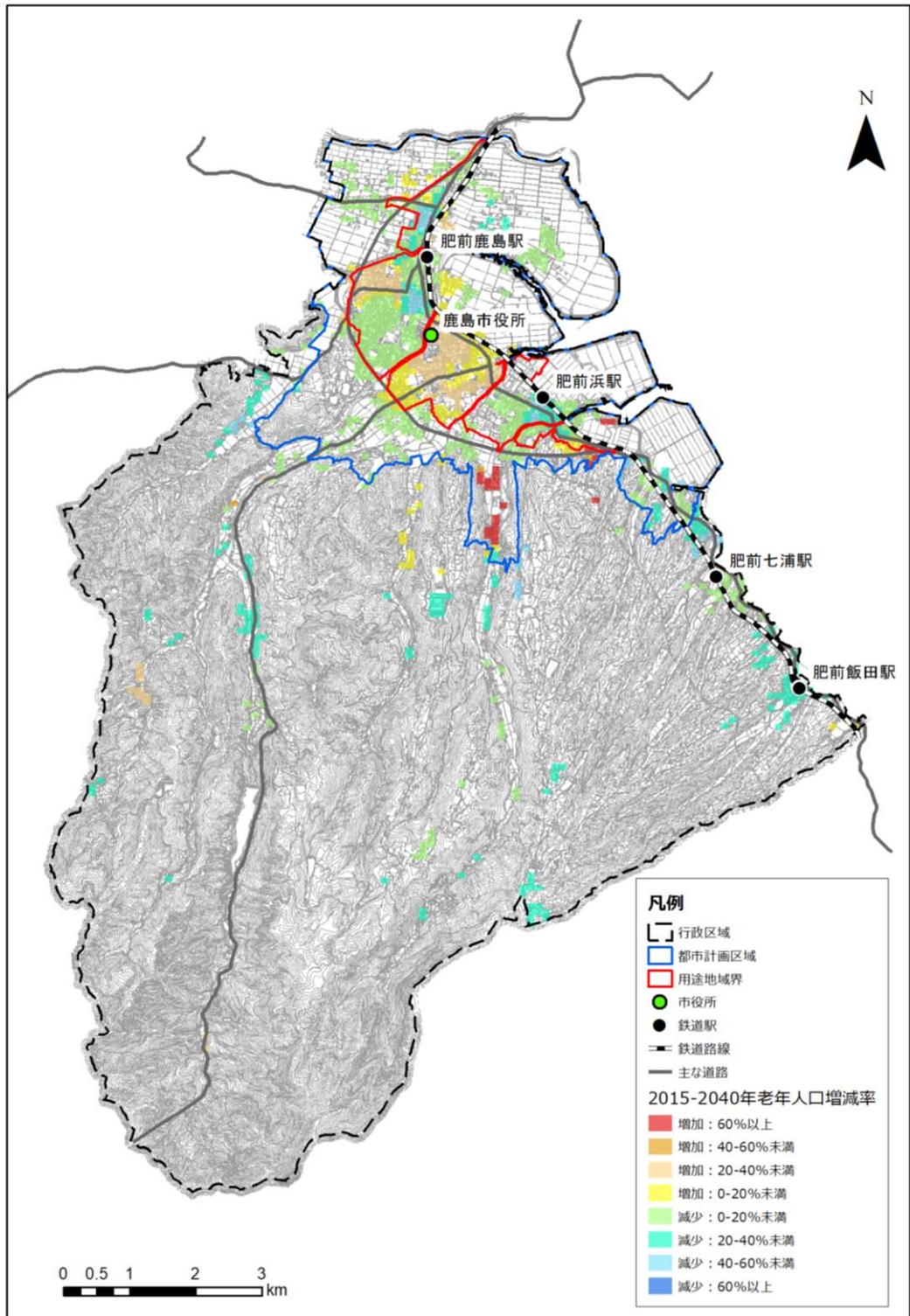
資料：国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

(3) 2040年人口密度



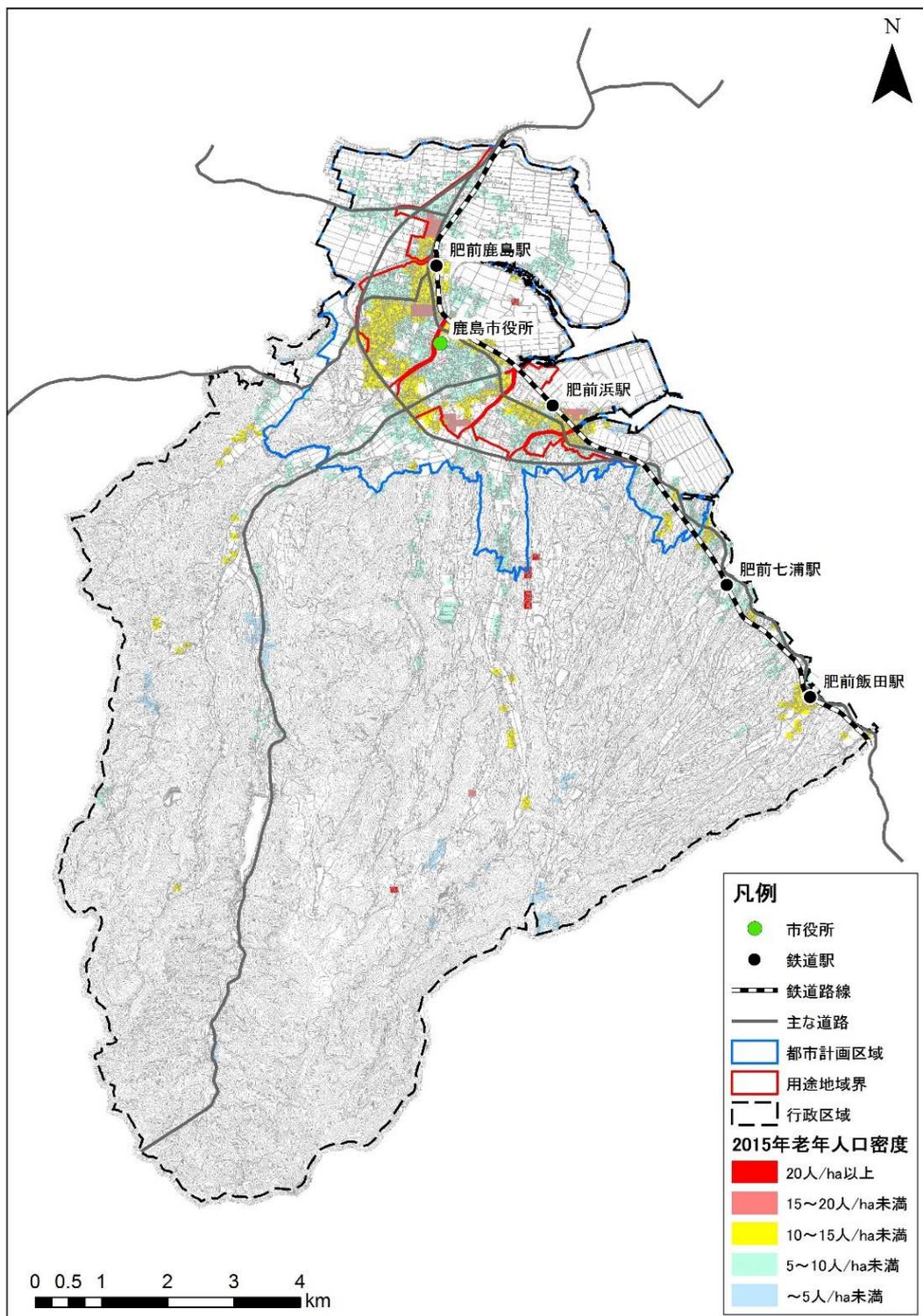
資料：国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

(4) 2015~2040年老年人口増減率



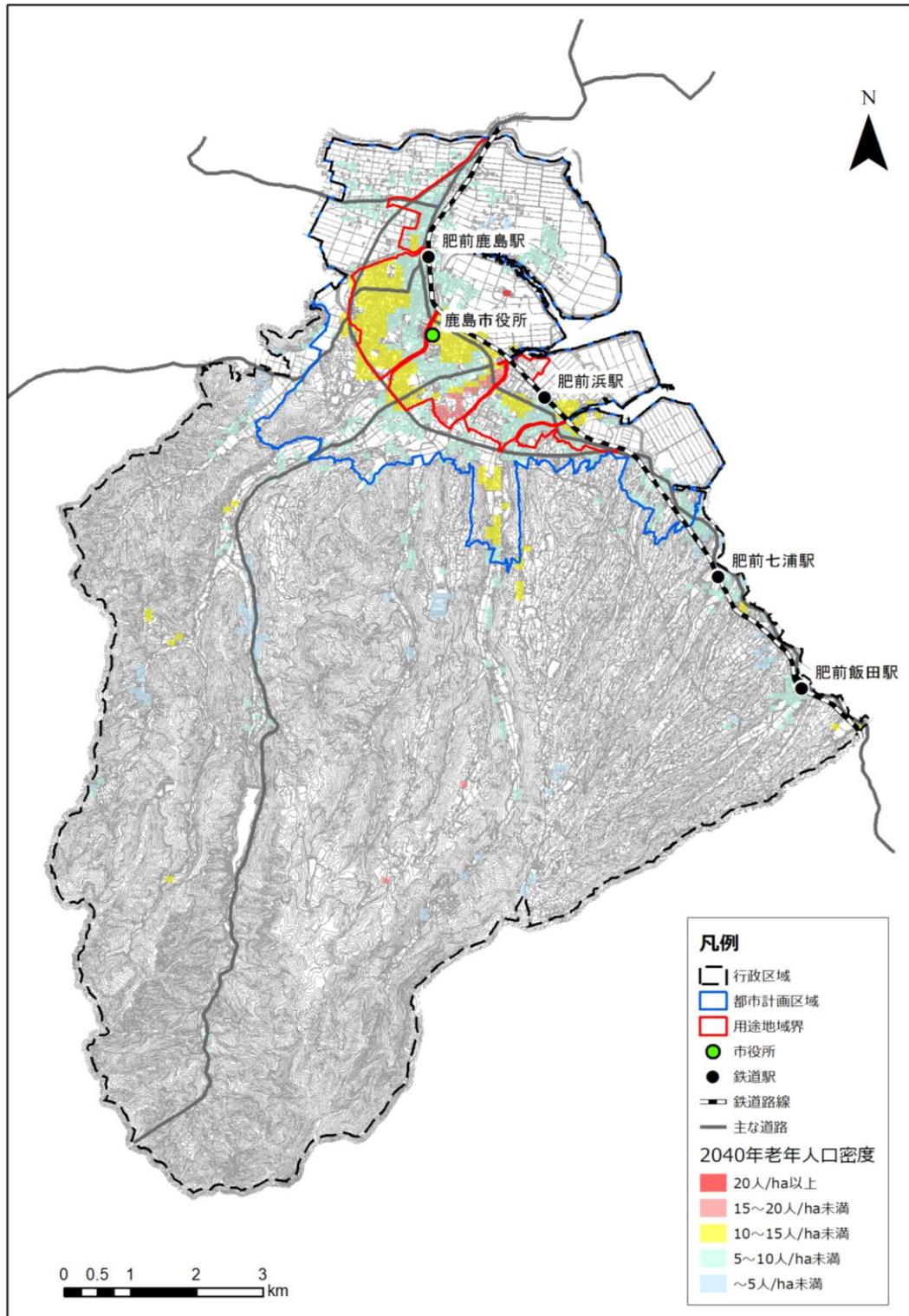
資料：国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

(5) 2015 年老年人口密度



資料：国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

(6) 2040年老年人口密度



資料：国土数値情報、国立社会保障・人口問題研究所を基に作成(人口メッシュ)

2. 市民アンケート結果

2.1 調査概要

項目	内 容
調査方法	郵送による配布、回収
調査対象	鹿島市内に在住する 18 歳以上の市民 2,000 人
対象者の抽出方法	鹿島市内に在住する 18 歳以上の市民から無作為抽出
調査実施期間	2019 年 1 月 8 日（火）～1 月 23 日（水）
回答数(回答率)	回答数：847(回答率：42.4%)
調査内容	(1)あなたご自身について（回答者の属性等） (2)身近な施設の利用状況について(各種施設の利用状況、交通手段 等) (3)コンパクトなまちづくりに向けて（必要な施設 等）

2.2 調査結果

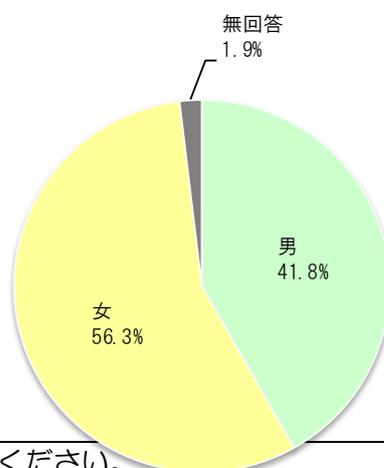
2.2.1 あなたご自身について

2.2.1.1 回答者の属性

問1 あなたの性別にあてはまる番号を○で囲んでください。

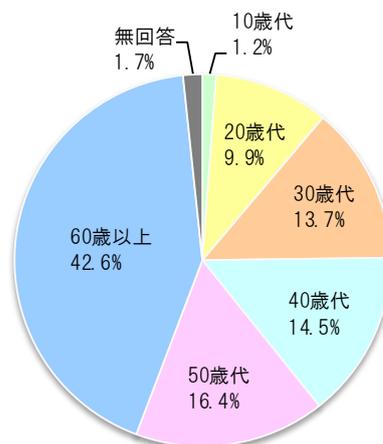
選択肢	件数	比率
1. 男	354	41.8%
2. 女	476	56.3%
無回答	16	1.9%
計	846	100.0%

複数回答による集計除外1名



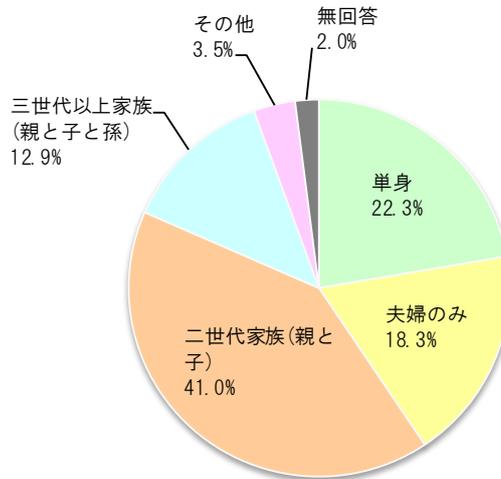
問2 あなたの年齢にあてはまる番号を○で囲んでください。

選択肢	件数	比率
1. 10歳代	10	1.2%
2. 20歳代	84	9.9%
3. 30歳代	116	13.7%
4. 40歳代	123	14.5%
5. 50歳代	139	16.4%
6. 60歳以上	361	42.6%
無回答	14	1.7%
計	847	100.0%



問3 ご家族の構成について、あてはまる番号を○で囲んでください。

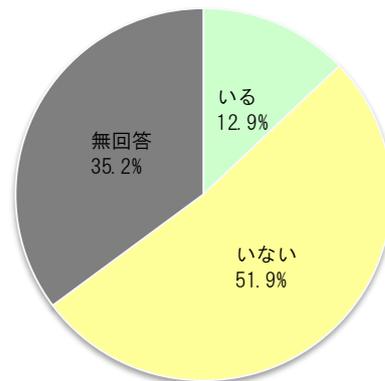
選択肢	件数	比率
1. 単身	189	22.3%
2. 夫婦のみ	155	18.3%
3. 二世世代家族(親と子)	347	41.0%
4. 三世代以上家族(親と子と孫)	109	12.9%
5. その他	30	3.5%
無回答	17	2.0%
計	847	100.0%



問4 同居する家族について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

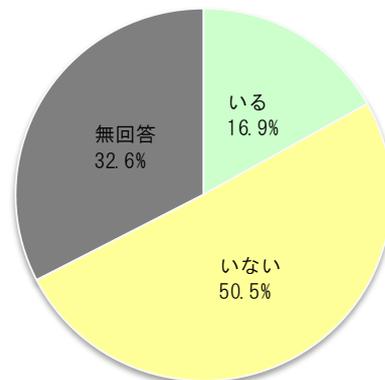
■ 乳幼児(小学校就学前)

選択肢	件数	比率
1. いる	109	12.9%
2. いない	440	51.9%
無回答	298	35.2%
計	847	100.0%



■ 小学生・中学生

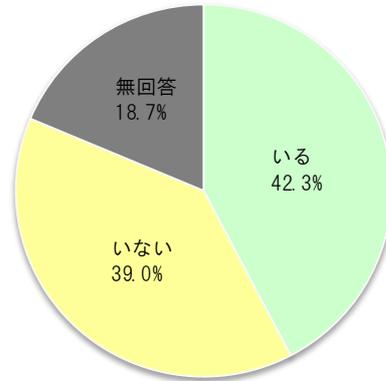
選択肢	件数	比率
1. いる	143	16.9%
2. いない	428	50.5%
無回答	276	32.6%
計	847	100.0%



■ 高齢者(65歳以上)

選択肢	件数	比率
1. いる	358	42.3%
2. いない	330	39.0%
無回答	158	18.7%
計	846	100.0%

複数回答による集計除外1名

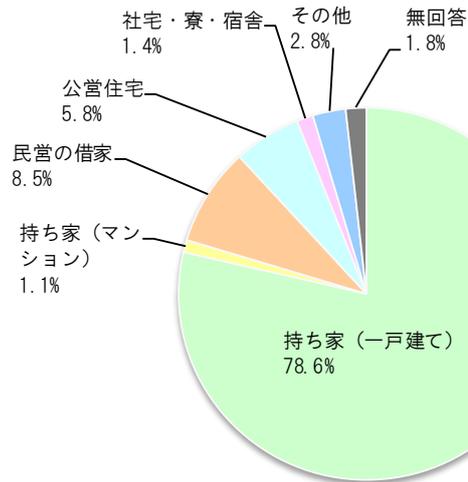


2.2.1.2 回答者の居住

問5 あなたの居住形態にあてはまる番号を○で囲んでください。

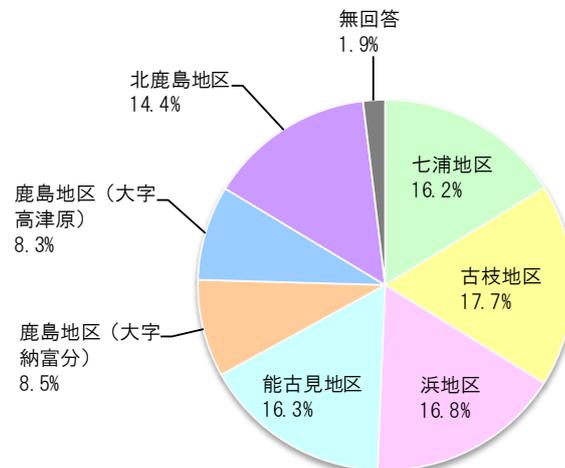
選択肢	件数	比率
1. 持ち家(一戸建て)	665	78.6%
2. 持ち家(マンション)	9	1.1%
3. 民営の借家	72	8.5%
4. 公営住宅	49	5.8%
5. 社宅・寮・宿舎	12	1.4%
6. その他	24	2.8%
無回答	15	1.8%
計	846	100.0%

複数回答による集計除外1名



問6 あなたの居住地(地区)にあてはまる番号を○で囲んでください。

選択肢	件数	比率
1. 七浦地区	137	16.2%
2. 古枝地区	150	17.7%
3. 浜地区	142	16.8%
4. 能古見地区	138	16.3%
5. 鹿島地区(大字納富分)	72	8.5%
6. 鹿島地区(大字高津原)	70	8.3%
7. 北鹿島地区	122	14.4%
無回答	16	1.9%
計	847	100.0%



2.2.2 身近な施設の利用状況について

- 各種施設への移動手段は、送迎車のある福祉施設を除き、すべての施設において「自家用車・バイク」が70%以上を占め自家用車・バイクへの依存がうかがえます。
- 利用する施設が立地する地域は、「鹿島地区（大字高津原）」の割合が比較的高いものの、大きな偏りはなく広い範囲に立地しています。
- 利用する施設への所要時間として、5分以内から20分以内の選択で半数を占めるものが多いです。
- 施設の利便性に関しては概ね満足されています。一方で不満の理由としては、すべての施設において、「住居から遠い」となり、地域別にみても大きな違いはありません。

「自家用車・バイク」の利用で、各施設までのアクセスに5分から20分の時間を要することや不満理由等から、施設が居住地から離れた地域に立地していること、分散していることがうかがえます。施設の配置やアクセス性を改善することで、さらなる利便性の向上が求められています。

2.2.2.1 商業施設の利用【食料品】

問7 食料品や飲料などの買い物に最もよく利用するお店について、以下の①～④の各設問にご回答ください。

利用される施設の場所としては、「鹿島地区(大字納富分)」、「鹿島地区(大字高津原)」の割合が高く、居住地域別に利用地区の割合をみると「鹿島地区(大字高津原)」で約80%、「北鹿島地区」で約50%が居住地内の利用となっています。

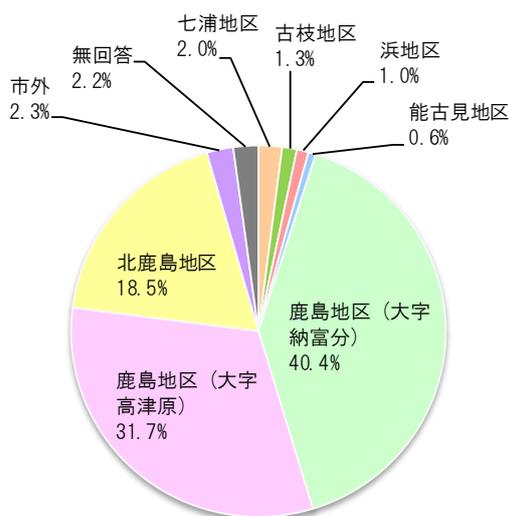
移動手段は、「自家用車・バイク」の割合が最も高く約90%を占め、所要時間としては、「10分以内」が33.1%、次いで「15分以内」が23.4%となっています。

施設の利便性については、「やや満足」が41.8%と最も高く、次いで「満足」が34.0%となっており、約70%以上が満足しています。利便性への不満理由としては、「住居から遠い」が最も多く、次いで「公共交通の便数が少ない」となっています。

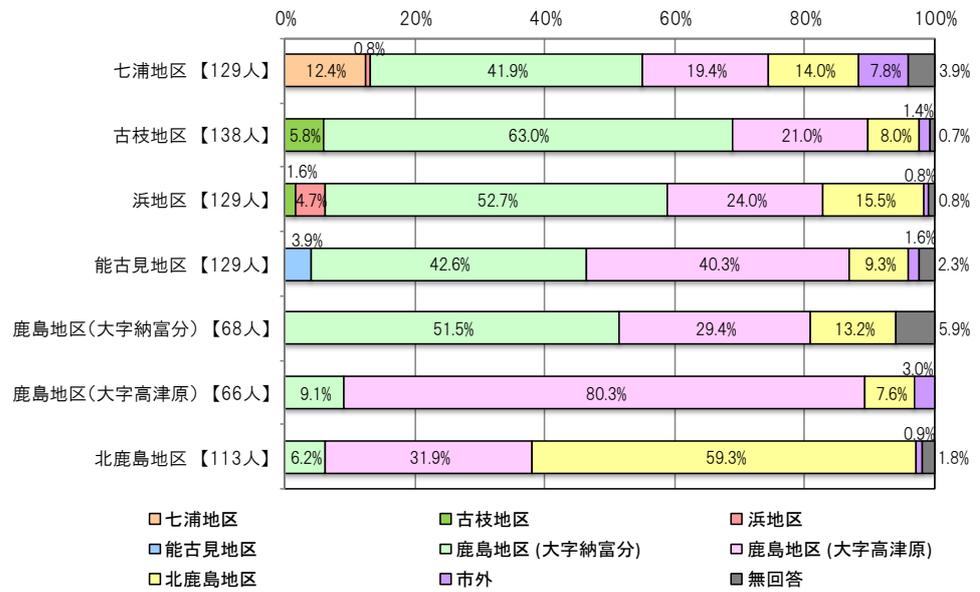
①お店の場所（地区）

選択肢	件数	比率
1. 七浦地区	16	2.0%
2. 古枝地区	10	1.3%
3. 浜地区	8	1.0%
4. 能古見地区	5	0.6%
5. 鹿島地区(大字納富分)	318	40.4%
6. 鹿島地区(大字高津原)	250	31.7%
7. 北鹿島地区	146	18.5%
8. 市外	18	2.3%
無回答	17	2.2%
計	788	100.0%

複数回答による集計除外59名



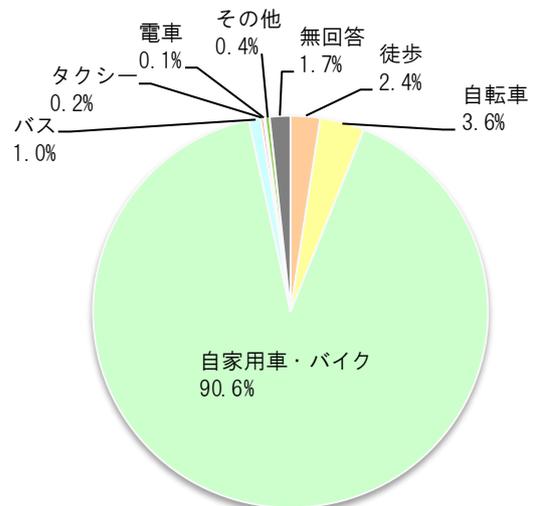
□ 居住地域別



② 主な移動手段

選択肢	件数	比率
1. 徒歩	20	2.4%
2. 自転車	30	3.6%
3. 自家用車・バイク	748	90.6%
4. バス	8	1.0%
5. タクシー	2	0.2%
6. 電車	1	0.1%
7. その他	3	0.4%
無回答	14	1.7%
計	826	100.0%

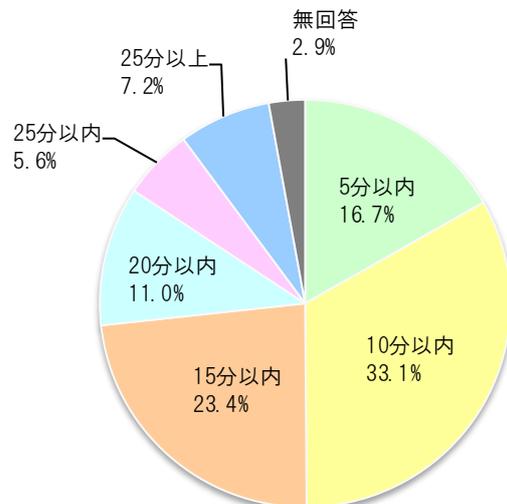
複数回答による集計除外21名



③ 所要時間

選択肢	件数	比率
1. 5分以内	141	16.7%
2. 10分以内	279	33.1%
3. 15分以内	197	23.4%
4. 20分以内	93	11.0%
5. 25分以内	47	5.6%
6. 25分以上	61	7.2%
無回答	24	2.9%
計	842	100.0%

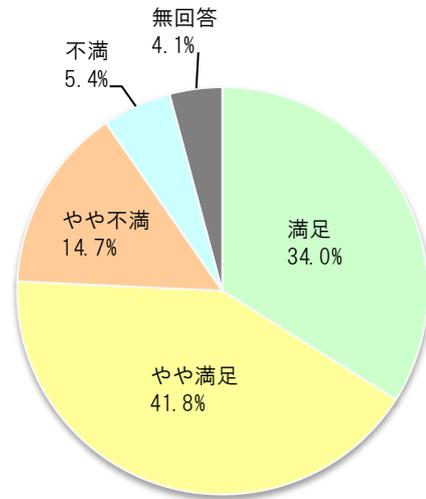
複数回答による集計除外5名



④施設の利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	287	34.0%
2. やや満足	353	41.8%
3. やや不満	124	14.7%
4. 不満	46	5.4%
無回答	35	4.1%
計	845	100.0%

複数回答による集計除外2名

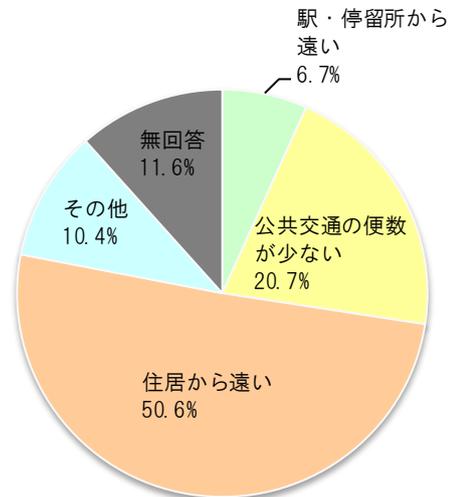


3 やや不満、4 不満を選択した理由

「やや不満」「不満」と回答 170人

選択肢	件数	比率
a. 駅・停留所から遠い	11	6.7%
b. 公共交通の便数が少ない	34	20.7%
c. 住居から遠い	83	50.6%
d. その他	17	10.4%
無回答	19	11.6%
計	164	100.0%

複数回答による集計除外6名



□ 居住地域別



□ 駅・停留所から遠い □ 公共交通の便数が少ない □ 住居から遠い □ その他 ■ 無回答

2.2.2.2 商業施設の利用【買回り品】

問8 衣料品、家具・家電や趣味のものなど(買回り品)の買い物に最もよく利用するお店について、以下の①～④の各設問にご回答ください。

利用される施設の場所は「鹿島地区(大字高津原)」、「市外」の割合が高くなっています。

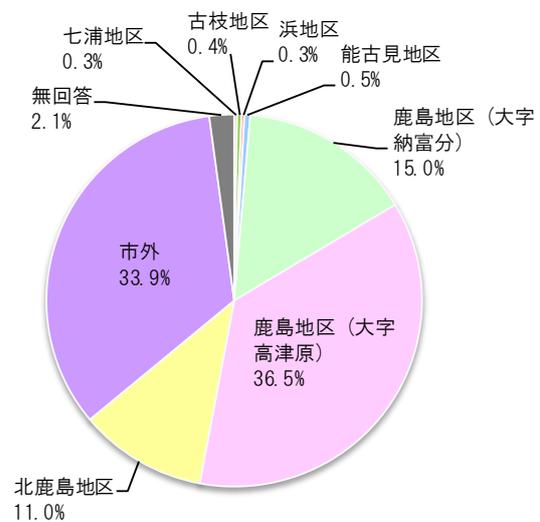
移動手段としては、「自家用車・バイク」の割合が最も高く、約90%を占めており、所要時間は、「25分以上」が38.5%と高くなっています。

施設の利便性としては、「やや満足」が40.0%と最も高く、次いで高い「満足」21.9%とあわせると、約60%以上が満足しています。利便性への不満理由としては、「住居から遠い」が約70%以上を占めています。地域別にみても半数以上が「住居から遠い」となっています。

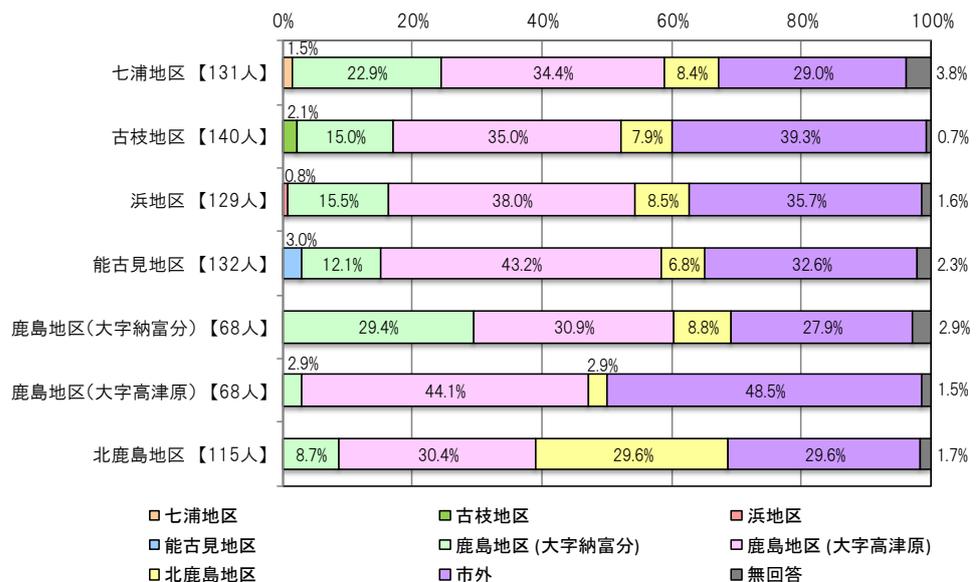
①お店の場所(地区)

選択肢	件数	比率
1. 七浦地区	2	0.3%
2. 古枝地区	3	0.4%
3. 浜地区	2	0.3%
4. 能古見地区	4	0.5%
5. 鹿島地区(大字納富分)	120	15.0%
6. 鹿島地区(大字高津原)	292	36.5%
7. 北鹿島地区	88	11.0%
8. 市外	271	33.9%
無回答	17	2.1%
計	799	100.0%

複数回答による集計除外48名



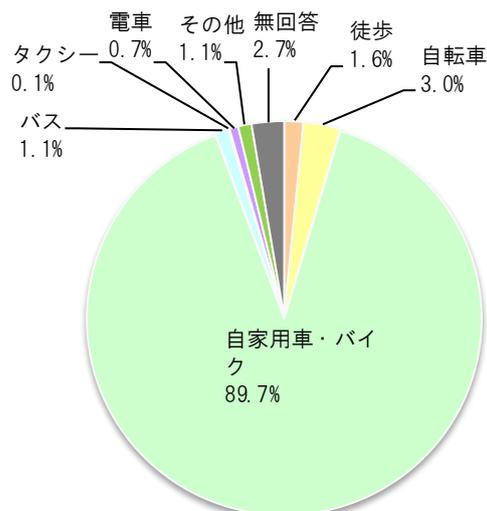
□ 居住地域別



②主な移動手段

選択肢	件数	比率
1. 徒歩	13	1.6%
2. 自転車	25	3.0%
3. 自家用車・バイク	743	89.7%
4. バス	9	1.1%
5. タクシー	1	0.1%
6. 電車	6	0.7%
7. その他	9	1.1%
無回答	22	2.7%
計	828	100.0%

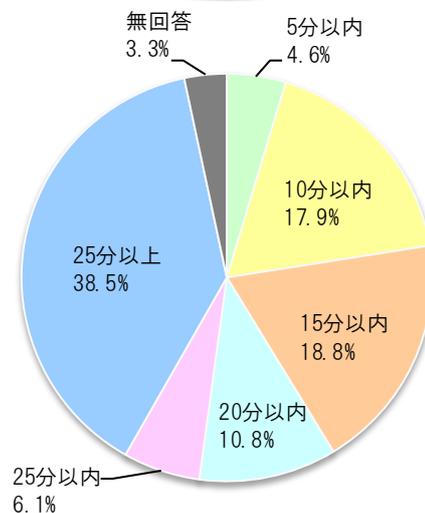
複数回答による集計除外19名



③所要時間

選択肢	件数	比率
1. 5分以内	39	4.6%
2. 10分以内	150	17.9%
3. 15分以内	158	18.8%
4. 20分以内	91	10.8%
5. 25分以内	51	6.1%
6. 25分以上	323	38.5%
無回答	28	3.3%
計	840	100.0%

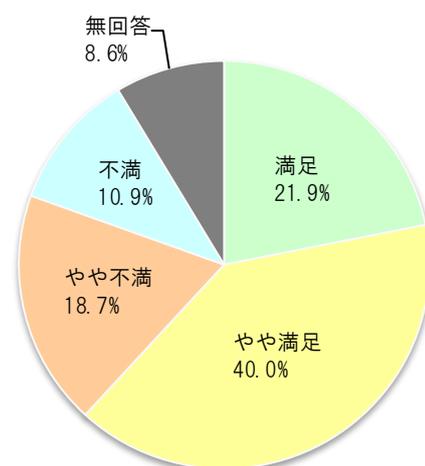
複数回答による集計除外7名



④施設の利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	185	21.9%
2. やや満足	338	40.0%
3. やや不満	158	18.7%
4. 不満	92	10.9%
無回答	73	8.6%
計	846	100.0%

複数回答による集計除外1名

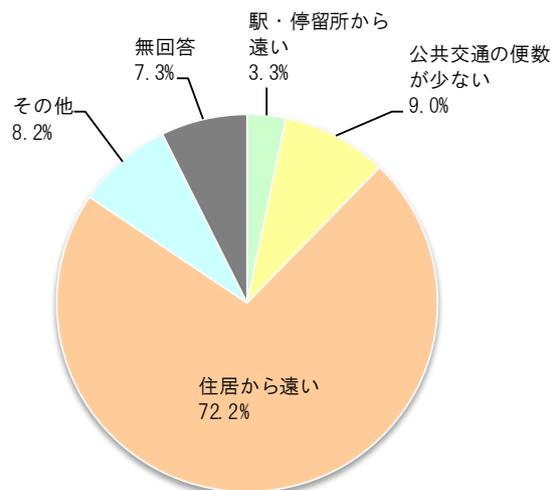


3やや不満、4不満を選択した理由

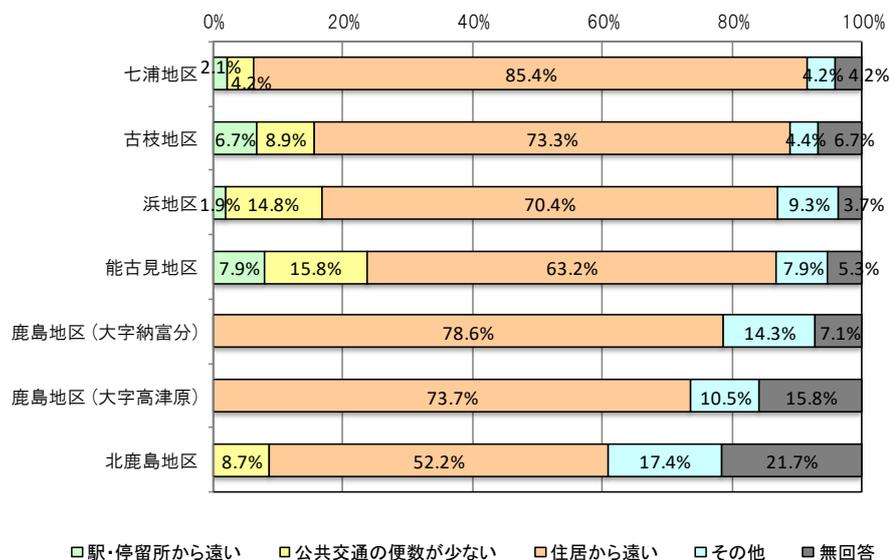
「やや不満」「不満」と回答 250人

選択肢	件数	比率
a. 駅・停留所から遠い	8	3.3%
b. 公共交通の便数が少ない	22	9.0%
c. 住居から遠い	177	72.2%
d. その他	20	8.2%
無回答	18	7.3%
計	245	100.0%

複数回答による集計除外5名



□ 居住地域別



2.2.2.3 医療施設の利用【病院・診療所】

問9 最もよく利用する病院や診療所について、以下の①～④の各設問にご回答ください。

利用される施設の場所は、「鹿島地区(大字高津原)」が約40%と高く、居住地域別の利用地区の割合をみても、すべての地域において「鹿島地区(大字高津原)」が高い割合を占めています。

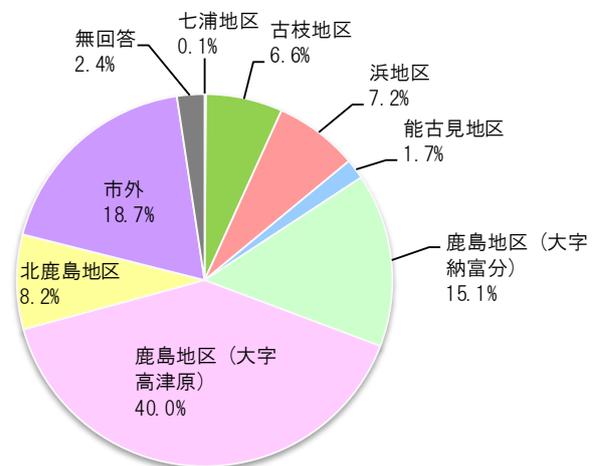
移動手段としては、「自家用車・バイク」の割合が最も高く、約90%を占めており、所要時間は、「10分以内」が27.5%と最も高く、「15分以内」22.8%、「5分以内」11.0%と合わせると、15分以内が約60%を占めています。

施設の利便性としては、「やや満足」が43.7%と最も高く、次いで高い「満足」29.7%とあわせると、約70%以上が満足しています。利便性への不満理由としては、「住居から遠い」が56.7%と半数以上を占めています。また、能古見地区については、「公共交通の便数が少ない」が約30%と他地域と比べ高くなっています。

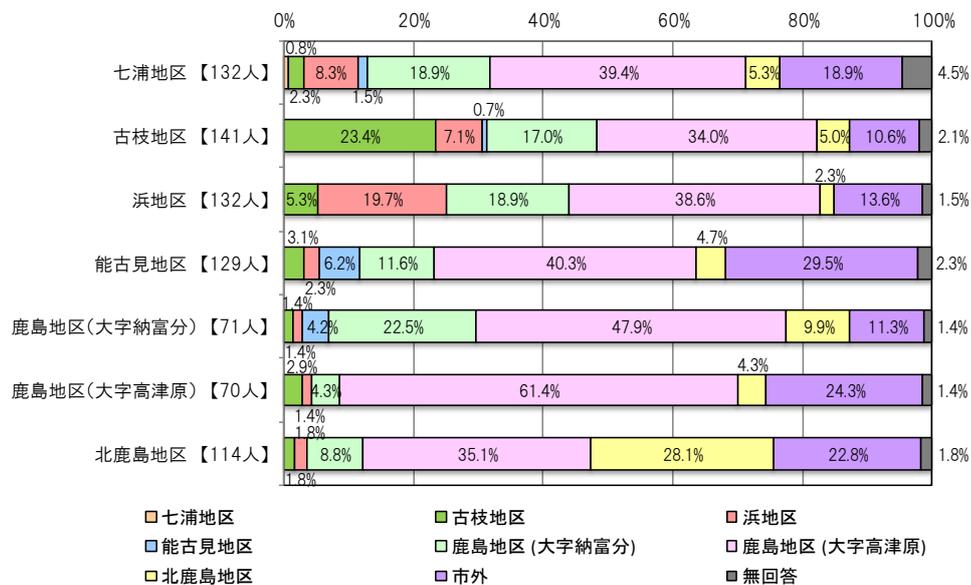
①病院や診療所の場所(地区)

選択肢	件数	比率
1. 七浦地区	1	0.1%
2. 古枝地区	53	6.6%
3. 浜地区	58	7.2%
4. 能古見地区	14	1.7%
5. 鹿島地区(大字納富分)	121	15.1%
6. 鹿島地区(大字高津原)	321	40.0%
7. 北鹿島地区	66	8.2%
8. 市外	150	18.7%
無回答	19	2.4%
計	803	100.0%

複数回答による集計除外44名



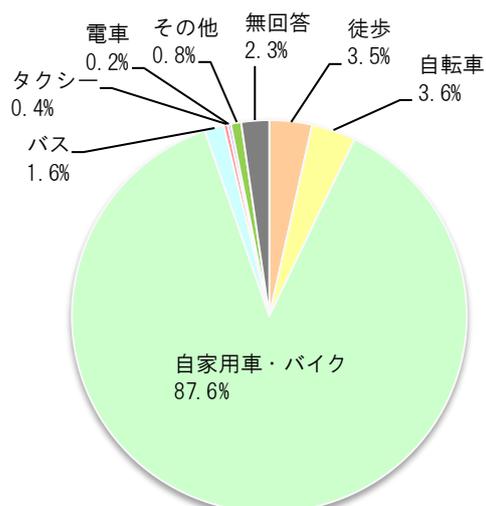
□ 居住地域別



②主な移動手段

選択肢	件数	比率
1. 徒歩	29	3.5%
2. 自転車	30	3.6%
3. 自家用車・バイク	728	87.6%
4. バス	13	1.6%
5. タクシー	3	0.4%
6. 電車	2	0.2%
7. その他	7	0.8%
無回答	19	2.3%
計	831	100.0%

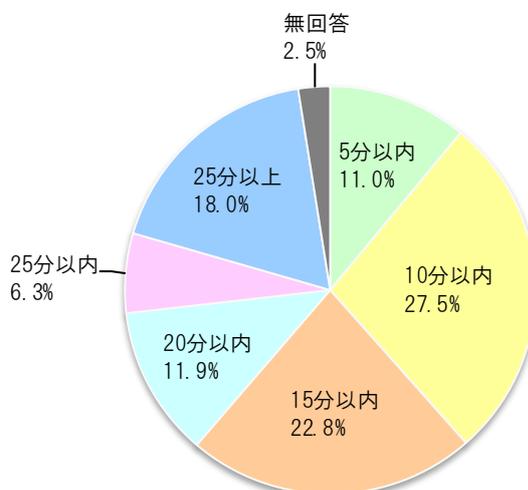
複数回答による集計除外16名



③所要時間

選択肢	件数	比率
1. 5分以内	92	11.0%
2. 10分以内	231	27.5%
3. 15分以内	191	22.8%
4. 20分以内	100	11.9%
5. 25分以内	53	6.3%
6. 25分以上	151	18.0%
無回答	21	2.5%
計	839	100.0%

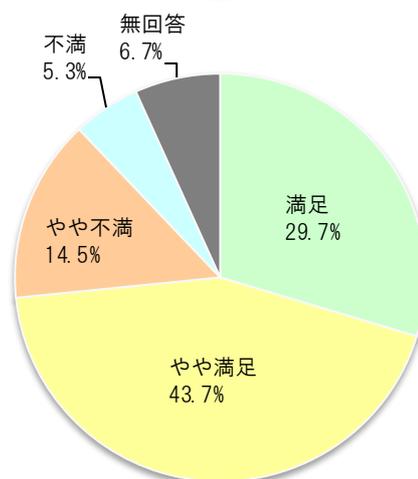
複数回答による集計除外8名



④施設の利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	251	29.7%
2. やや満足	370	43.7%
3. やや不満	123	14.5%
4. 不満	45	5.3%
無回答	57	6.7%
計	846	100.0%

複数回答による集計除外1名

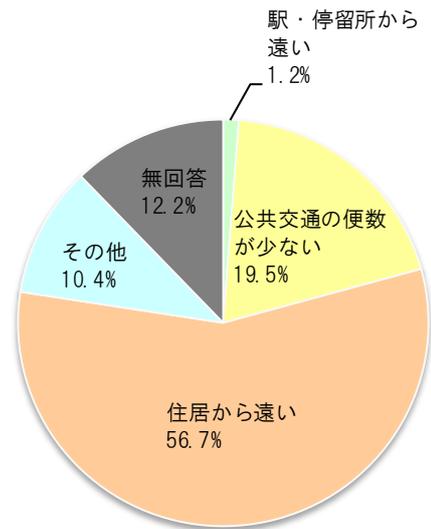


3 やや不満、4 不満を選択した理由

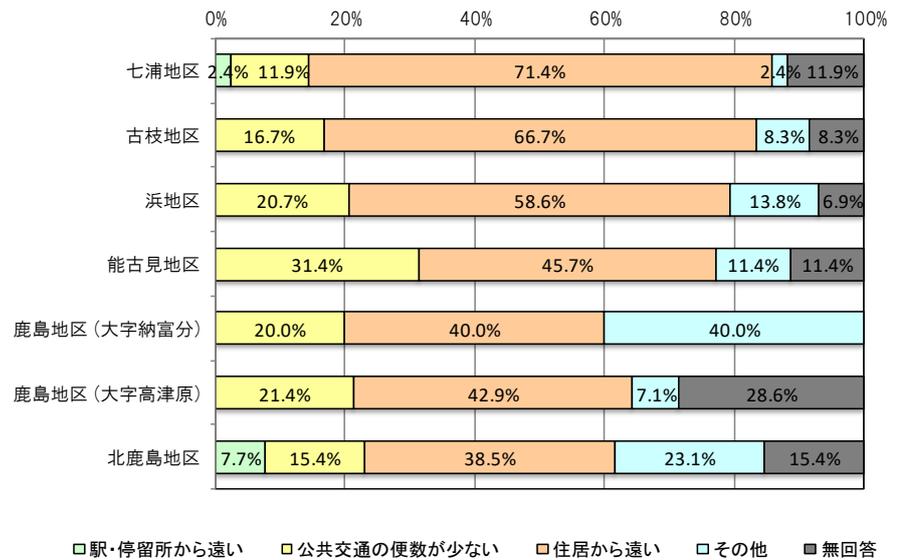
「やや不満」「不満」と回答 168人

選択肢	件数	比率
a. 駅・停留所から遠い	2	1.2%
b. 公共交通の便数が少ない	32	19.5%
c. 住居から遠い	93	56.7%
d. その他	17	10.4%
無回答	20	12.2%
計	164	100.0%

複数回答による集計除外4名



□ 居住地域別



2.2.2.4 子育て施設の利用【保育園・幼稚園】

問 10 保育園・幼稚園などへの通園について、以下の①～④の各設問にご回答ください。
※ご家族のご利用がある方のみ

利用される施設の場所は、居住地内の割合が高く、居住地から近い施設利用がうかがえます。

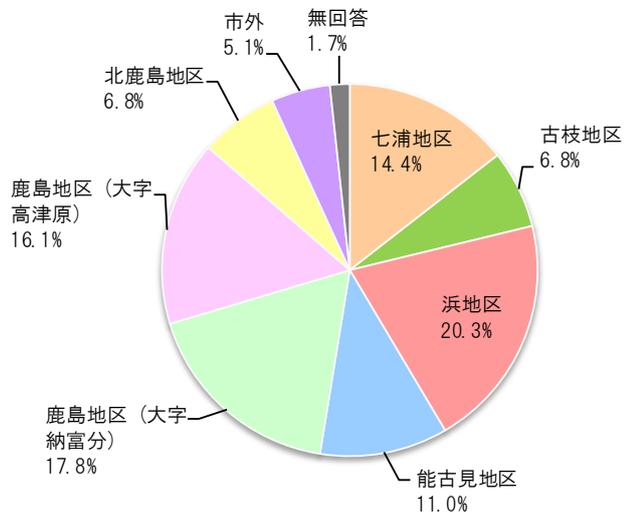
移動手段としては、「自家用車・バイク」の割合が最も高く、約 80%を占めており、所要時間は、「5分以内」が 35.5%と最も高く、「10分以内」29.8%、「15分以内」19.8%となり、全体として 15分以内が約 80%以上となっています。

施設の利便性としては、「満足」が 41.3%と最も高く、次いで高い「やや満足」35.5%とあわせると、約 70%以上が満足しています。利便性への不満理由としては、「住居から遠い」が 47.1%と約 50%を占めています。

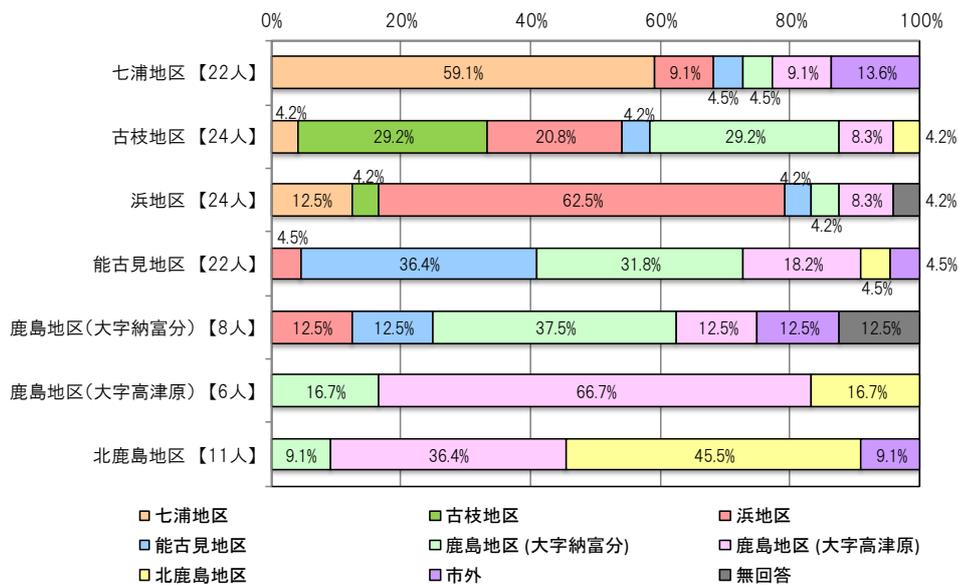
① 保育園・幼稚園などの場所(地区)

選択肢	件数	比率
1. 七浦地区	17	14.4%
2. 古枝地区	8	6.8%
3. 浜地区	24	20.3%
4. 能古見地区	13	11.0%
5. 鹿島地区(大字納富分)	21	17.8%
6. 鹿島地区(大字高津原)	19	16.1%
7. 北鹿島地区	8	6.8%
8. 市外	6	5.1%
無回答	2	1.7%
計	118	100.0%

複数回答による集計除外3名



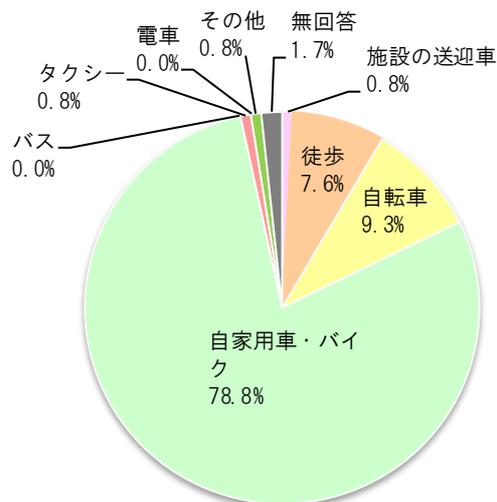
□ 居住地域別



②主な移動手段

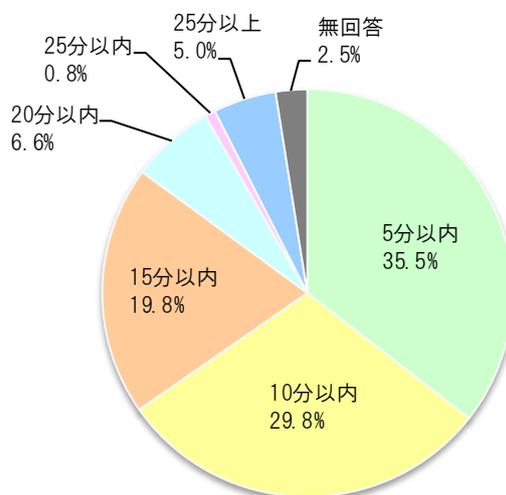
選択肢	件数	比率
1. 施設の送迎車	1	0.8%
2. 徒歩	9	7.6%
3. 自転車	11	9.3%
4. 自家用車・バイク	93	78.8%
5. バス	0	0.0%
6. タクシー	1	0.8%
7. 電車	0	0.0%
8. その他	1	0.8%
無回答	2	1.7%
計	118	100.0%

複数回答による集計除外3名



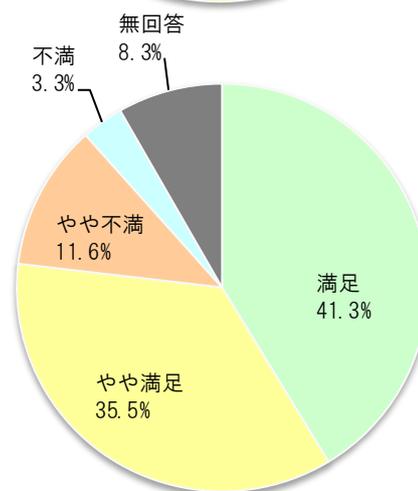
③所要時間

選択肢	件数	比率
1. 5分以内	43	35.5%
2. 10分以内	36	29.8%
3. 15分以内	24	19.8%
4. 20分以内	8	6.6%
5. 25分以内	1	0.8%
6. 25分以上	6	5.0%
無回答	3	2.5%
計	121	100.0%



④施設の利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	50	41.3%
2. やや満足	43	35.5%
3. やや不満	14	11.6%
4. 不満	4	3.3%
無回答	10	8.3%
計	121	100.0%

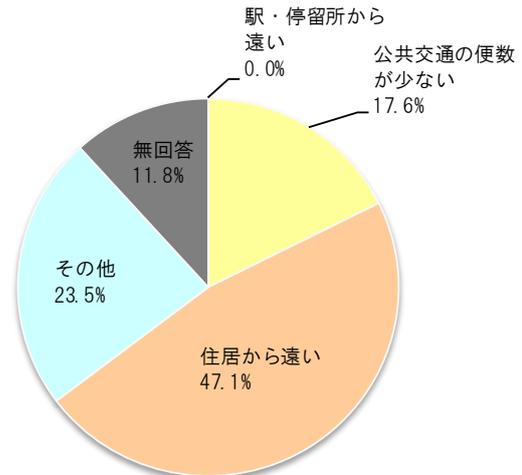


3やや不満、4不満を選択した理由

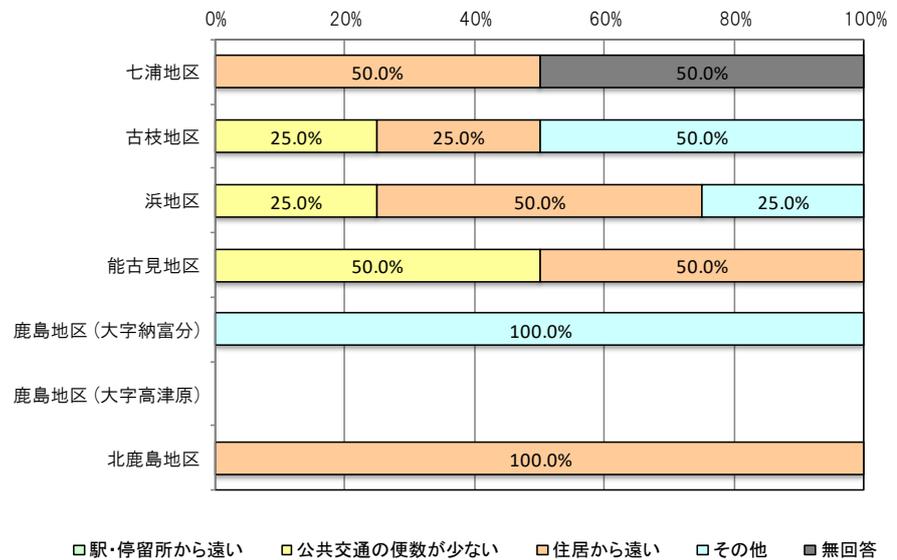
「やや不満」「不満」と回答 18人

選択肢	件数	比率
a. 駅・停留所から遠い	0	0.0%
b. 公共交通の便数が少ない	3	17.6%
c. 住居から遠い	8	47.1%
d. その他	4	23.5%
無回答	2	11.8%
計	17	100.0%

複数回答による集計除外1名



□ 居住地域別



2.2.2.5 福祉施設の利用【通所型】

問 11 通所型の福祉施設(デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設)の利用について、以下の①～④の各設問にご回答ください。
 ※ご家族・ご本人のご利用がある方のみ

利用される施設の場所は、「鹿島地区(大字高津原)」の割合が高くなっています。居住地域別に利用地区の割合をみると、鹿島地区(大字納富分)で居住地内利用が 75.0%、北鹿島地区で居住地内利用が 66.7%と高い割合を占めています。

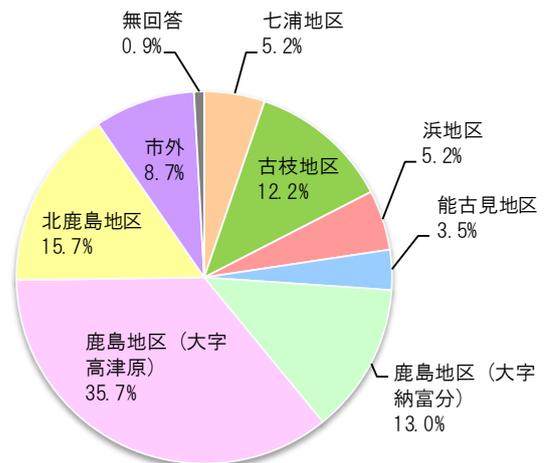
移動手段としては、「施設の送迎車」が半数以上を占めており、所要時間は、「15 分以内」が 29.7%と最も高く、「10 分以内」17.8%、「5 分以内」10.2%となっておる、全体として 15 分以内が半数以上となっています。

施設の利便性としては、「やや満足」が 39.8%と最も高く、次いで高い「満足」30.5%となっており、約 70%以上が満足しています。利便性への不満理由としては、「住居から遠い」が約 40%以上を占めています。

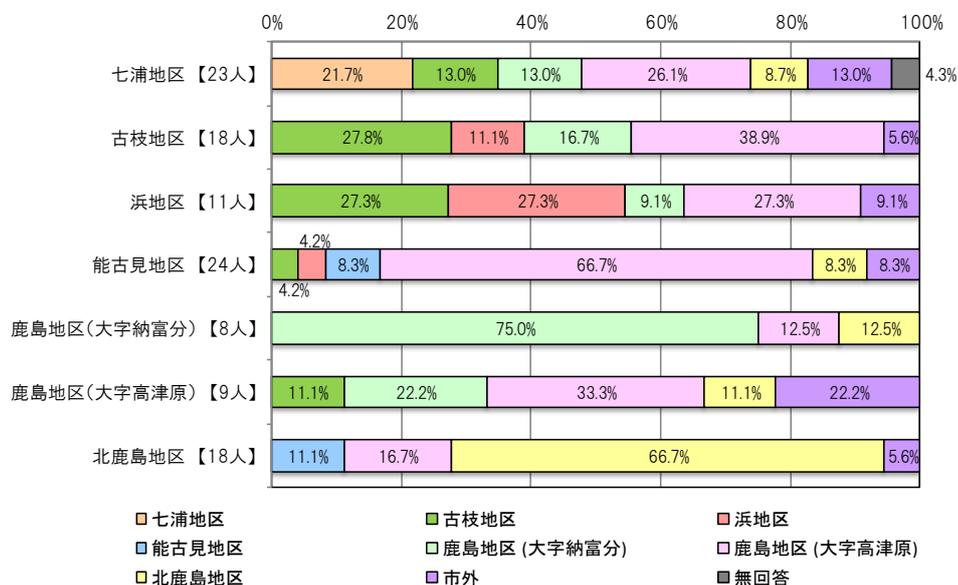
①通所型の福祉施設の場所

選択肢	件数	比率
1. 七浦地区	6	5.2%
2. 古枝地区	14	12.2%
3. 浜地区	6	5.2%
4. 能古見地区	4	3.5%
5. 鹿島地区(大字納富分)	15	13.0%
6. 鹿島地区(大字高津原)	41	35.7%
7. 北鹿島地区	18	15.7%
8. 市外	10	8.7%
無回答	1	0.9%
計	115	100.0%

複数回答による集計除外3名



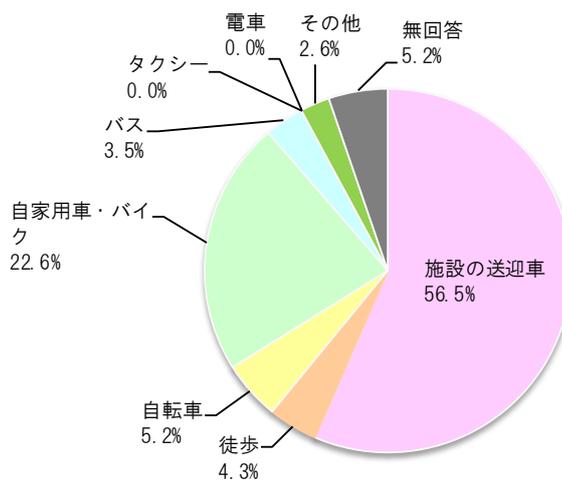
□ 居住地域別



②主な移動手段

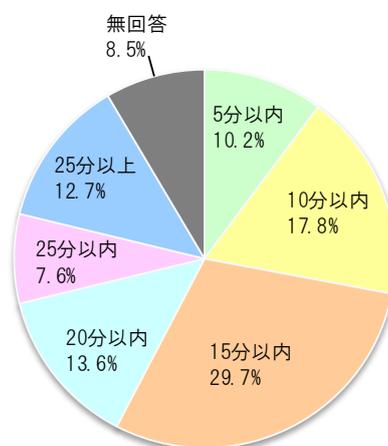
選択肢	件数	比率
1. 施設の送迎車	65	56.5%
2. 徒歩	5	4.3%
3. 自転車	6	5.2%
4. 自家用車・バイク	26	22.6%
5. バス	4	3.5%
6. タクシー	0	0.0%
7. 電車	0	0.0%
8. その他	3	2.6%
無回答	6	5.2%
計	115	100.0%

複数回答による集計除外3名



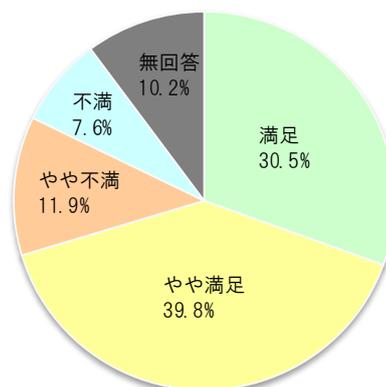
③所要時間

選択肢	件数	比率
1. 5分以内	12	10.2%
2. 10分以内	21	17.8%
3. 15分以内	35	29.7%
4. 20分以内	16	13.6%
5. 25分以内	9	7.6%
6. 25分以上	15	12.7%
無回答	10	8.5%
計	118	100.0%



④施設の利便性

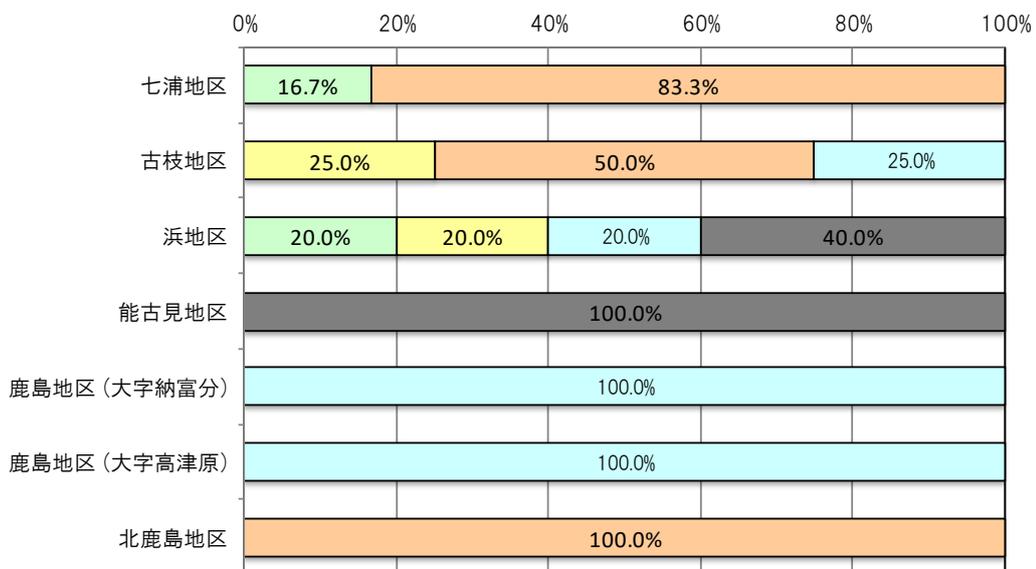
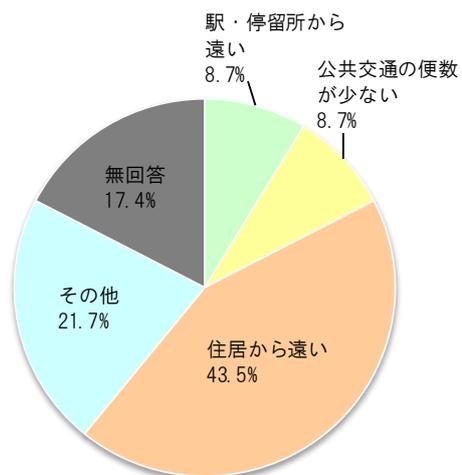
選択肢	件数	比率
1. 満足	36	30.5%
2. やや満足	47	39.8%
3. やや不満	14	11.9%
4. 不満	9	7.6%
無回答	12	10.2%
計	118	100.0%



3やや不満、4不満を選択した理由

「やや不満」「不満」と回答 23人

選択肢	件数	比率
a. 駅・停留所から遠い	2	8.7%
b. 公共交通の便数が少ない	2	8.7%
c. 住居から遠い	10	43.5%
d. その他	5	21.7%
無回答	4	17.4%
計	23	100.0%



■ 駅・停留所から遠い
 ■ 公共交通の便数が少ない
 ■ 住居から遠い
 ■ その他
 ■ 無回答

2.2.3 コンパクトなまちづくりに向けて

- 日常定期的に利用する施設まで10分以内であれば、徒歩圏と考える割合が半数以上となっています。
- 市街地や駅周辺・郊外の住宅地ともに、必要とする施設は「食料品・生活用品等の店舗」「郵便局や銀行」が高くなっています。
- 世代別にみると、若い世代ほどコンビニエンスストアを必要とする傾向が強くなっています。
- 市街地や駅周辺においては「大規模病院」を求める意向が多く、郊外の住宅地では「診療所」を求める意向が高くなっており、求める医療施設の性質が異なります。
- 居住地に求める利便性として、「日常生活に必要な施設は徒歩圏内にあり、たまに行く施設へは公共交通を利用して行ける地域に住みたい」「ほとんどの施設が徒歩圏内に揃う地域に住みたい」の割合が高く、10歳代を除き年代による大きな変動はみられません。
- 移り住むことを想定した場合、「戸建て住宅購入・リフォームに対する費用の助成」「移り住むことに対する総合的な相談窓口」を求める意向が多くなっています。
- 若い世代では、「戸建て住宅購入・リフォームに対する費用の助成」「賃貸住宅の入居等に対する費用の助成」の費用の助成を求める意向が多くなっています。

徒歩10分以内の範囲に「食料品・生活用品等の店舗」「郵便局や銀行」等の日常生活の中で頻繁に利用する施設が配置された利便性の高い地域の形成や公共交通によるアクセス性の向上が求められています。また、人口集約・転居の誘導にあたっては費用の助成を検討する必要があります。

2.2.3.1 自宅の徒歩圏に必要な施設

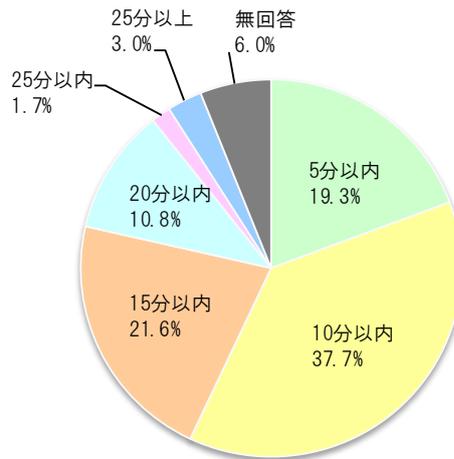
問12 商業施設や病院などの日常的に利用する施設まで、自宅から何分ぐらいであれば徒歩で利用しますか。最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

「10分以内」が37.7%と最も高く、「5分以内」19.3%とあわせると、半数以上が10分以内と考えています。

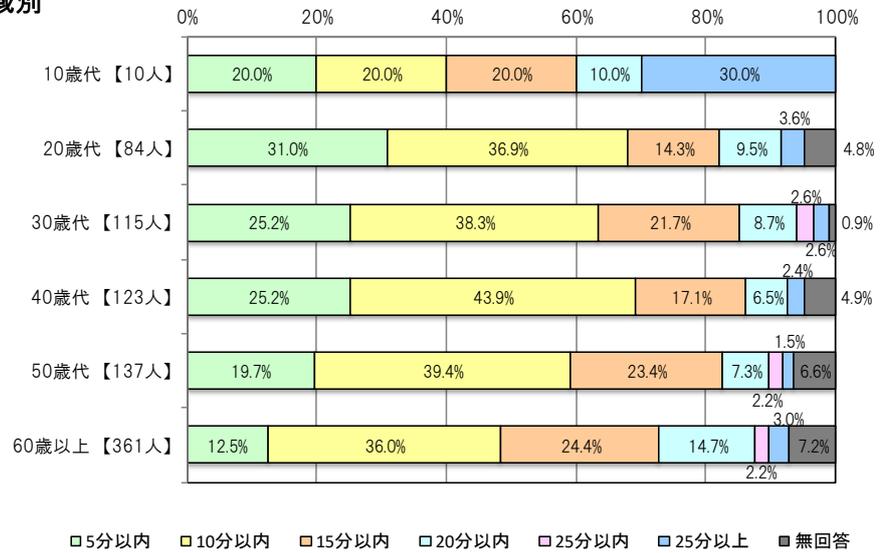
年代別でみると10歳代を除き、10分以内を徒歩圏と考える世代が多くなっています。50歳代・60歳代においては、「15分以内」の割合の増加がみられます。

選択肢	件数	比率
1. 5分以内	163	19.3%
2. 10分以内	318	37.7%
3. 15分以内	182	21.6%
4. 20分以内	91	10.8%
5. 25分以内	14	1.7%
6. 25分以上	25	3.0%
無回答	51	6.0%
計	844	100.0%

複数回答による集計除外3名



□ 居住地域別

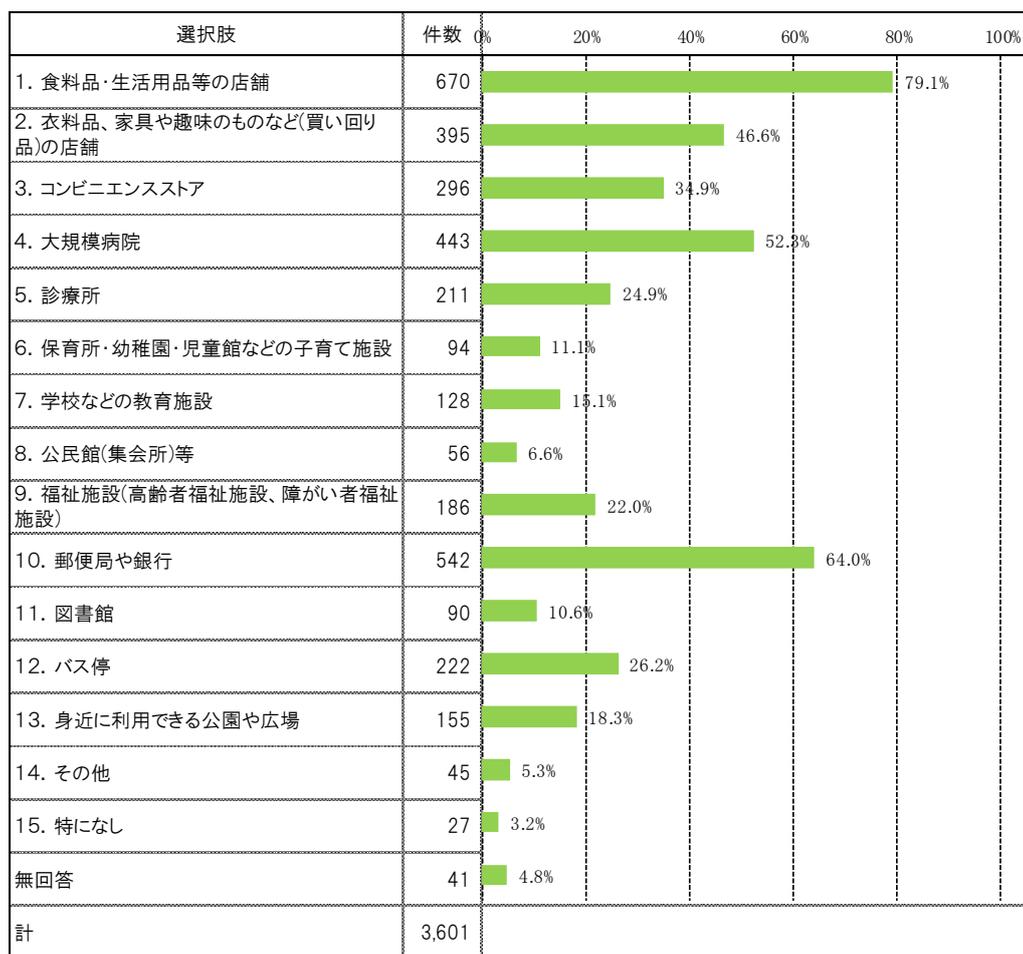


2.2.3.2 市街地や駅周辺の徒歩圏に必要な施設

問 13 市街地中心部や駅周辺など公共交通が充実した拠点となる場所の徒歩圏内に、特に必要だと思う生活サービス施設は何ですか。よくあてはまるものを最大5つ選び、番号を○で囲んでください。

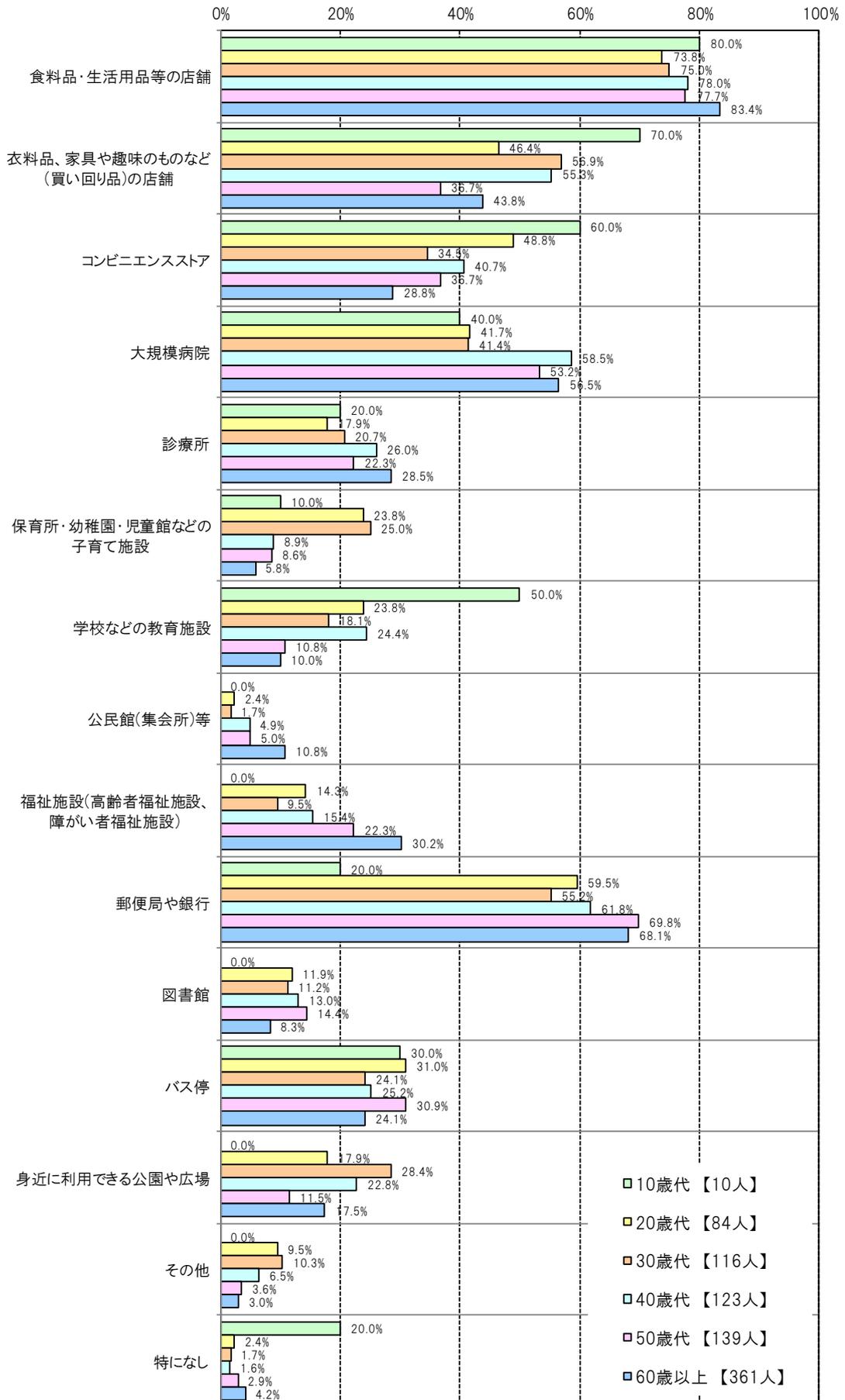
「食料品・生活用品等の店舗」が79.1%で最も多く、次いで、「郵便局や銀行」64.0%、「大規模病院」52.3%、「衣料品、家具や趣味のものなど(買い回り品)の店舗」46.6%となっています。

年代別でみると40歳代以上で、「大規模病院」の割合が高く、20歳代、30歳代の子育て世代では「保育所・幼稚園・児童館などの子育て施設」の割合が高くなっています。年代が上がるにつれて「福祉施設(高齢者福祉施設、障がい者福祉施設)」の割合が高くなります。



複数回答

□ 年代別

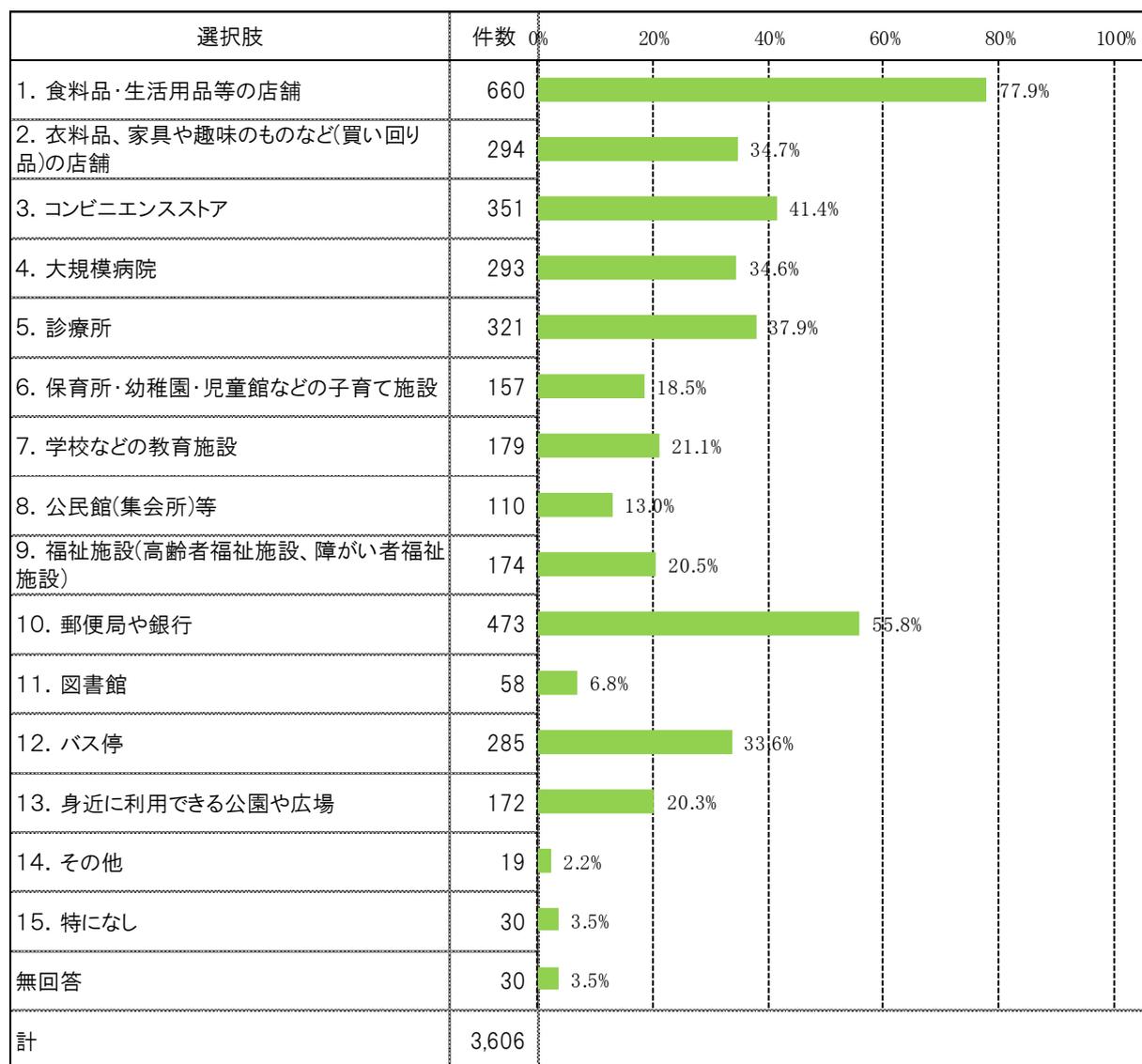


2.2.3.3 郊外の住宅地の徒歩圏に必要な施設

問 14 郊外の住宅地から徒歩圏内に特に必要だと思う生活サービス施設は何ですか。よくあてはまるものを最大5つ選び、番号を○で囲んでください。

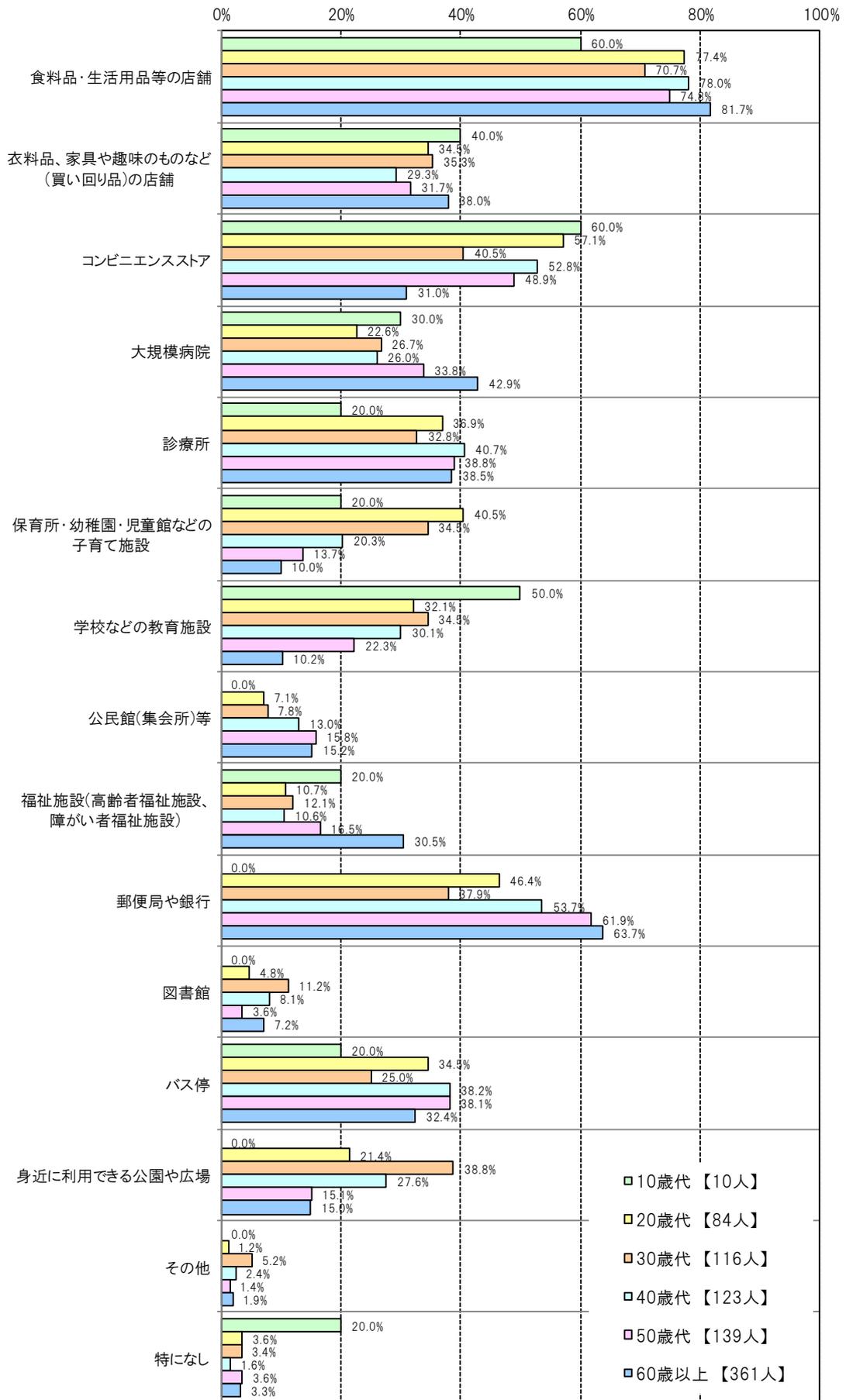
「食料品・生活用品等の店舗」が 77.9%で最も多く、次いで、「郵便局や銀行」 55.8%、「コンビニエンスストア」 41.4%となっています。

年代別にみると、若い方ほど、「コンビニエンスストア」の割合が高く、年代が上がるにつれて、「大規模病院」「福祉施設(高齢者福祉施設、障がい者福祉施設)」「郵便局や銀行」の割合が高くなっています。



複数回答

□ 年代別



2.2.3.4 自動車利用が困難になった場合の居住地

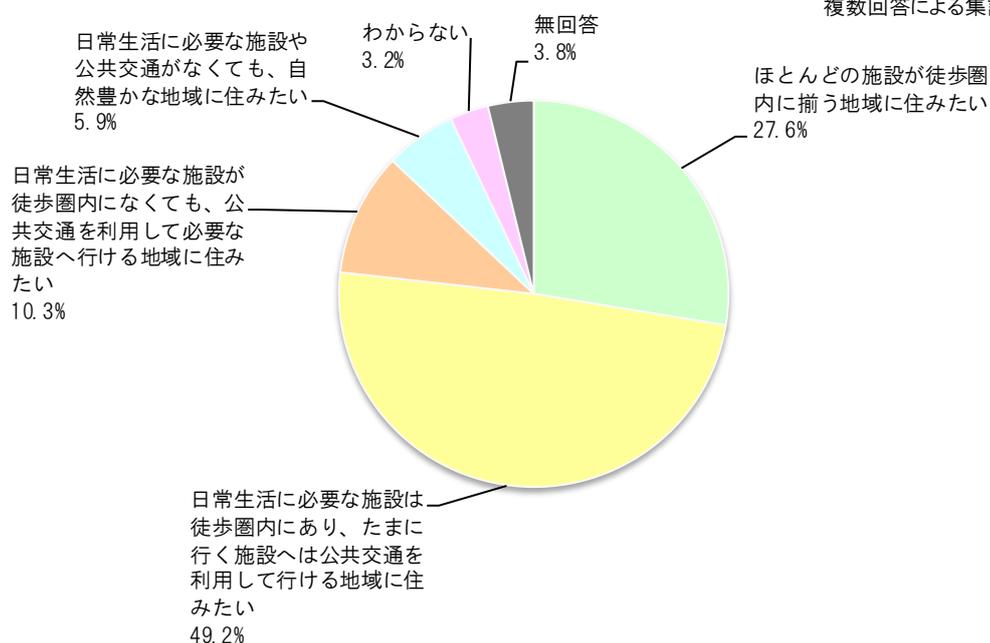
問 15 徒歩や公共交通のみを利用した時のことを想定した場合に、住みたい地域について、最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

「日常生活に必要な施設は徒歩圏内にあり、たまに行く施設へは公共交通を利用して行ける地域に住みたい」が49.2%で最も高く、次いで「ほとんどの施設が徒歩圏内に揃う地域に住みたい」27.6%となっており、施設が利用しやすい地域への居留意向が約70%を超えています。

年齢別にみると、30歳代と60歳以上において、「日常生活に必要な施設が徒歩圏内になくても、公共交通を利用して必要な施設に行ける地域に住みたい」、「日常生活に必要な施設や公共交通がなくとも、自然豊かな地域に住みたい」の割合が他の年代に比べ高く、利便性よりも居住地の周辺環境を考える傾向がうかがえます。

選択肢	件数	比率
1. ほとんどの施設が徒歩圏内に揃う地域に住みたい	233	27.6%
2. 日常生活に必要な施設は徒歩圏内にあり、たまに行く施設へは公共交通を利用して行ける地域に住みたい	415	49.2%
3. 日常生活に必要な施設が徒歩圏内になくても、公共交通を利用して必要な施設へ行ける地域に住みたい	87	10.3%
4. 日常生活に必要な施設や公共交通がなくとも、自然豊かな地域に住みたい	50	5.9%
5. わからない	27	3.2%
無回答	32	3.8%
計	844	100.0%

複数回答による集計除外3名



□ 年代別



- ほとんどの施設が徒歩圏内にそろった地域に住みたい
- 日常生活に必要な施設は徒歩圏内にあり、たまに行く施設へは公共交通を使用して行ける地域に住みたい
- 日常生活に必要な施設が徒歩圏内になくても、公共交通を使用して必要な施設へ行ける地域に住みたい
- 日常生活に必要な施設や公共交通がなくとも、自然豊かな地域に住みたい
- わからない
- 無回答

問 15 公共交通や生活に必要な施設が充実した便利な地域へ移り住むことを想定してください。そのとき、どのような制度（支援）があるとよいですか。よくあてはまるものを2つ選び、番号を○で囲んでください。

「戸建て住宅購入・リフォームに対する費用の助成」が41.7%で最も高く、次いで「移り住むことに対する総合的な相談窓口」が41.6%となっています。

年代別にみると、10歳代から30歳代の若い世代では、費用の助成が多く求められており、60歳以上では移り住むことに対する相談窓口や情報提供が求められています。

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%
1. 移り住むことに対する総合的な相談窓口	352	41.6%					
2. 移り住むことに対する情報提供	239	38.2%					
3. 空き家・空き地の活用に対する情報提供	136	16.1%					
4. 戸建て住宅購入・リフォームに対する費用の助成	353	41.7%					
5. 賃貸住宅の入居等に対する費用の助成	250	29.5%					
6. 土地の売買に伴う税制等の優遇措置	150	17.7%					
無回答	40	4.7%					
計	1,520						

複数回答

□ 年代別

